新京日日新聞
夕刊 十二月五日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢 郵稅
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

何氏の態度如何で斷乎退去を要求せん
有吉・蔣の會見で解決策は明瞭 今更の具體案提示は無駄

【東京國通】何應欽氏は中央で決定せる北支問題解決の辦法を携へて北支に乘込み各將領の自治運動切崩しに狂奔してゐるが我方では何氏の行動を嚴重監視しその態度如何によつては北支より退去要求に方針決定の模樣である、即ち何應欽氏が北支の各將領と解決辦法の交渉をした後我方に之を提示して解決策を練る方針と解せられるが、北支問題は有吉大使、蔣介石氏會見にて支那側より具體案を提示する事になつてゐるので假令何應欽氏が北支の我當局に會見を求むるとも斷乎拒絶の方針である、尙何氏の策動は自治運動を惡化せしめ延いては滿洲國の治安に重大影響を及ぼす事態となつたので我方としては兩三日其策動を監視した後其態度如何によつては斷乎何氏の退去を勸告し北支明朗化に積極的態度を示すと信ぜらる

支那の態度を監視
場合によつては適宜の措置

【東京國通】南京政府は軍政部長何應欽氏を北上せしめて北支解決工作を進める一方盛んに歐米駐剳大公使を策動せしめ北支に對する日本の行動を惡宣傳し、九ヶ國條約加盟國會議の招請並に聯盟理事會停頓の底意をちらつかせつゝある模樣だが我方としてはかゝる事實を以て南京政府の無反省な歐米依存政策の採用であり、廣田宣言三原則に對する具體的反擊であるとの見解を持ち此の種策動の行はれる限り情勢は支那に有利に展開せざるのみならず東亞の安定維持促進に對する現狀に歐米の不測の策動の素地を與へるものなりとして警戒的態度を以つて監視すると共に情勢の如何に依つては南京政府に對し猛省の機會を與へ北支自體に關する世界的認識の是正に努むるの措置に出ずべく成行は注目されて居る

唐有壬氏 磯谷少將訪問
何應欽北上に就き諒解を求む

【上海五日發國通】國民政府外交部次長唐有壬氏は四日朝來滬、午前十時陸軍武官室に磯谷少將を訪問した、會談の內容は曩に陳儀、張群兩氏が有吉大使、磯谷武官、佐藤武官を數回に亘り個別的に訪問したのと大差なく華北問題に就て國民政府の苦衷を述べつゝ日本側の意向を打診したものと解せられてゐる、特に今回は日本側の反對的態度にも拘らず何應欽氏を行政院北平辦事處長官に任命、突如北上せしめた事に就て縷々釋明に努めて日本側の諒解を求めた[illegible]上華北の自治運動に就ては中國の主權を侵害せざる限り實情已むなしと言ふが如き意味を言外に仄めかした模樣である尙唐有壬氏は磯谷武官と會見後午後四時佛租界の大使官邸に有吉大使を訪問し同じ意味の事を釋明諒解を求めた

御慶び重なる大內山に
六日は照宮樣滿十歳御誕辰

【東京國通】義宮樣御誕生御命名、三笠宮殿下御成年式と御慶び重なる宮中に六日は更に照宮樣が滿十歳の御誕辰を迎へさせられる此日照宮樣は女子學習院から御歸還後午後四時半から久留島武彥氏を吳竹寮に召され孝宮樣、順宮樣にも御揃ひで童話を御聽取あり、午後六時から 天皇陛下には照宮樣をはじめ 皇太子殿下、孝宮、順宮兩內親王樣御揃ひで鈴木侍從長以下側近者を召され[illegible]催される趣きである

昭和十年の國都 五
王道國都建設に驚異の大躍進
韓市長の市政五ヶ年計畫

市公署關係

橋口總務處長辭し、その後任に植田貢太郎氏が監察院から推されたのは四月二十日、引續き翌月二十八日に金壁東氏が龍江省長に轉任の後を襲つて現在の韓雲階氏を第二代目の市長として迎へることになつた、韓市長は例の馬占山當時黑龍省長として敏腕を振つた人、その女房役の植田氏は獨立獨歩立志傳中の人として夙に滿鐵時代からその人格と非凡なる才能を謳はれてゐた日系官吏中のエックスパートで、これに配するに手腕家の宇山現財務處長を迎へて、市公署の陣營は他のいづれの機關よりも强味を加へた、これ吾等市民として大きな誇りであり、喜びでなければならないが、果然これら幹部の陣容整備とゝもに市政上の大革新が非常なる英斷によつてなされたのである、而してその第一の現れは例の韓市長の所謂市政五箇年計畫であつた、これより先き財政審議會を設けるとゝもに市政綱領を設けて政治の王道化を以て市の方針としたが、これ即ち官民一心化の具現であり、七月一日これを全市民の前に聲明して實行を誓つたのであつた、いらい半歲、この約束が果して實踐されたであらうか、吾等はいまその主なる一つ一つについて檢討して見ることにしやう

行政組織の擴大整備

治外法權撤廢の大業、國都建設局の移管、寬城子の併合等やがて來るべき行政權の擴大强化を控へてまづ必要なのは市公署の陣容そのものゝ整備であり、これがために八月一日附を以て財政處が新設され初代處長に宇山經理科長が昇進することゝなつた、財政處は稅務、理財の兩科の二つに分れ、歲入事務の統一、市有財產の統制管理を合理化せんために生れたもので、ほかに總務處に新たに調査科を設け市行政の根本的調査に當るとゝもに新規事業の計畫に着手し、以て將來の發展に備へることになつた、なほ事務系統を明確にし、各股長を正式任命してその任を明かにした如きも、韓市長始め市幹部の堅き信念に基く細心な注意によるものでやがては能率向上に役立ちし事蓋し尠くはなかつた

市政五箇年計畫 第一年次

市政五ケ年計畫の第一年次として主なる事業をあげて見ると、まづ張國務總理の指定寄附五萬圓を以て男子中學校を南嶺に新設することゝなつた本年基礎工事を終り來夏早々竣工の豫定である、更に小學校としては大經路兩級小學校があり、この工費實に十九萬圓、千二百人收容の豫定だが滿人小學校としては恐らくまさに前例のない堂々たるまたモダーンそのものである、小學校としてはなほ東盛、文廟兩小學校の新築とゝもに長通路小學校の增築など、附屬地同樣こゝにも就學兒童の洪水に備へたもの、ついで目下基礎工事中の市立病院の新築だが工費約八十萬圓で國都の病院として相應しい內容外觀を備へたこの病院も明年解氷とゝもにいよ／＼本工事に着手することになつてゐるから來夏八月頃までには完成されるであらう、このほか滿鐵と共同の屠畜場計畫（總資本三十萬圓の半額負擔）、市勢調査生業資金の貸出、夏期大學開催、各種市場および療養所の新設などいろ／＼あるが、これらのうち一部分は旣に實現し、殘るものも來年度匆々いづれも實現の手筈になつてゐる

中銀鮮銀業務協定會議
根本的綱目諒解成る 近く圓滿成立せん

【東京國通】年內には圓滿解決せしむべく鋭意折衝中の滿洲國中央銀行と朝鮮銀行の業務協定會議は四日再開、中銀の普通銀行業務移管問題等を中心に種々折衝を重ねたが根本的綱目に關しては大體諒解を遂げたので今後は一、二回の事務的折衝で多少波瀾を豫想された兩行業務協定も圓滿成立の運びとなつた、即ち中銀は中央銀行として機能を發揮すべく普通銀行業務に關しては鮮銀との營業上の競爭を避けるやう適當なる抑制を加へる事となり、假令普通銀行業務は鮮銀に移管するに至らぬにしても中央銀行としての立場から普通銀行業務は事實上漸次鮮銀に移管するやう努力すべきことによつて兩者の諒解がなつた模樣である

日本の關心は帝國領土の安全
永野全權外國記者に語る

【ロンドン四日發國通】開會を五日の後に控へて我全權部では會議準備に忙殺されてゐるが、永野、永井兩全權は四日午前は內外新聞記者を引見永野全權は外國記者團に對し左の如きインタービューを與へた

日本政府の關心の中心は日本帝國領土の安全である、日本は右の立場から英米兩國との海軍兵力の均等、戰艦、航空母艦、大型巡洋艦等の如き大型戰艦の廢棄を主張するものだが日本としては特定の諸條件が容認されれば潛水艦の廢棄すらも必ずしも拒否するものではない、ドイツ、ソヴイエト等は萬一海軍協定が之等諸國を含めた取決めを爲すに於ては當然參加すべきだ、日本政府は日本が必要とする安全を保障するのであるならば欣然太平洋不可侵條約の締結を歡迎するものである、但し余は今次の會議に際し新條約を提案する樣な訓令はうけてゐない、英國政府の建艦計畫宣言案に就ては何とも言へぬ

軍縮會議
各國發言順決定

【ロンドン四日發國通】軍縮會議開會式は九日午前十時半イギリス外務省ロカルノの間で擧行されるが各國代表發言順は左の如く決定した

イギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダ、フランス、インド、アイルランド、イタリー、日本、ニユージーランド、南阿聯邦

先づ極東不侵略を討議
我軍縮作戰成る

【ロンドン四日發國通】軍縮會議への日本の作戰に關して權威ある筋より聞くに日本は先づ政治問題特に極東不侵略乃至不脅威に關する協定問題を提議して之等か希望通りに進展せねば戰艦其他關係問題の討議に入る意向を有しない如くである、其論據は海軍比率は當然一國の安全感及國威の問題により決定されるべきものであるから政治問題の討議は不可避である

何氏との此上の會見は無意味との結論に到達
宋氏天津に行くか

【北平五日發國通】何應欽氏の齎らした北支安定對策と宋哲元氏の抱懷する北支自治意見は根本的に隔絶せることが明かとなり宋哲元氏は南京政府に追隨するか、北支民衆の輿望に應へるかの何れかを決する土壇場に立ち遂に四日夜蕭振瀛氏宅に於ける最後會議の開催となつたのであるが、右會議に於て宋氏はあくまで旣定方針に向つて邁進するためには此上何應欽氏との會見を重ねることは無意味なりとの結論に到達した、これがため宋哲元氏は本日中に天津或は張家口に向ひ何應欽氏を避けることによつて毅然たる態度を表明するに非ずやと觀られる

來年五月五日 憲法草案宣布
一中全會總會で決議

【南京五日發國通】昨四日の一中全會第二次總會に於て左の二件が通過した

一、民國二十五年五月五日憲法草案を宣布す
一、同年十一月十二日國民大會を開會し同大會代表選擧は一月十日以前に施行す

王正廷招待會

【東京國通】日本外交協會の王正廷氏招待會は四日午後六時東京會館で開催、芳澤謙吉、倉知鐵吉、松方幸次郎外政界、財界の名士四十餘名出席、對支問題に關し意見の交換を行ひ午後九時散會した

外山、田中兩中將 光榮

參謀本部附に榮轉の前○○隊司令官外山中將及び旅順要塞司令官に新任の田中中將の兩將軍は五日午前十一時打揃つて國務院に張總理を訪問、離任及び着任の挨拶を述べた後同十五分軍政部を訪問、于大臣訪日不在の爲、李次長と會見、同樣挨拶を述べ終つて同三十分宮內府に參內、皇帝陛下に拜謁、御挨拶を言上したるに陛下には兩將軍に對し優渥なる御言葉を賜り引續き正午より御賜餐の御沙汰あり、兩將軍は感激退下した尙凱旋の外山中將は六日午後九時發滿鐵線で離京の豫定である

中銀ハルビン分行
新築落成式擧行

【ハルビン國通】總工費六十萬圓を投じて新城大街、田地街角に新築中であつた、中央銀行ハルビン分行は愈々竣工したので四日新京本行より榮厚總裁以下四重役も列席し在哈日滿官民二百餘名を招待、盛大な落成式を擧行した

分行は鐵筋コンクリート近代味を加味した古典式で銀行としての設備は完備してゐる、尙午後六時より鐵路クラブに於て分行落成並に鈴木分行總理の就任披露宴を張つた

ドイツ觀察團 公主嶺へ

ドイツ經濟視察團キープ公使の一行は公主嶺農事試驗場視察の爲今朝九時發「はと」で公主嶺へ向つた、夕刻歸京の豫定

佐々木最高顧問 歸任

大演習陪觀並に日本內地視察の于軍政部大臣一行の東道役として先般來歸國中であつた軍政部最高顧問佐々木少將は芳賀少佐を帶同昨四日午後九時着「ひかり」で歸任した

人事往來

▲宇佐美寬爾氏（鐵路總局長）五日午前來京
▲濱田中將（駐滿海軍部司令官）五日午後歸京
▲貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）四日午後來京ヤマトホテル
▲村田 磨氏（滿洲日日社長）同
▲加藤周三氏（靜岡殖產銀行）同名古屋ホテル
▲宮本源太郎氏（奉天電氣會社員）同
▲西大海氏（大連商業）同
▲石川留吉氏（東京會社員）同
▲碓水忠造氏（土木建築業）四日正午來京國都ホテル
▲增本芳太郎氏（北滿製糖專務取締役）同午後來京同
▲岩本重房氏（貿易商）同
▲水內忠氏（滿洲工廠）同
▲香取修理之亮氏（北滿產業研究所）同
▲丸茂藤平氏（大連市長）五日正午大連へ
▲瓜谷長造氏（大連特產商）同午前大連へ

最後の切札八枚
女八人競演時代小說（合作）

＝女？女？女？＝ 15 誤解 飯田蝶子作 【十五】

昌造は、カツと怒りに燃え立つたが、強いて、激情を押さへるやうに、

『斷じて、おかしな手紙ではないぢやないか。また、僕は、不良でもなければ女たらしでもない。其の手紙には、僕の眞情が吐露してあるんだ』

『トロやか何やか、そんな事知らんが、お前さんは、良家の子女にこんな物をおくつてよいと思ふてゐるのか』

良家の子女と云ふ言葉で、昌造は、急に可笑しくなつた。雜貨店の娘が、良家の子女もないもんだと思ふと、『フフン！』と鼻尖で嗤ふやうにして、

『兎に角、君達には判らないことだよ。人の眞情を吐露した手紙に對して、おかしな手紙とは失禮ぢやないか』

『失敬だか、はつけいだか知らんが、他人の娘に、無暗に附文をしてよいものかどうか、あんたかてまるで、教育のない人やなからうが。兎に角、家の喜美子にはれつきとした許嫁があつてな、あんたみたいな何處の馬の骨やか判らん男の相手にはなりやせんぜ。そやから手紙なんかいくら寄越しても駄目や、とんだ迷惑をするで。これからは注意して貰はんと困る。この手紙かて、喜美子の手に入らんうちに、この通り俺が見てしまうたのぢや』

昌造は、いよ／＼怒りに燃えてきた。それでは、折角出した手紙も、かうして横合ひからトンダ邪魔者があらはれて、本人の手には渡らなかつたのかと思ふと、無性に腹が立つた。

だが、其の邪魔者も、喜美子の兄だとあつて見れば、その無禮を責める譯にも行かなかつた。

『あゝさうか。僕は亦、喜美子と云ふ女に君のやうな物の判らない失敬な男があるとは思はなかつたよ。君の妹と知つてゐたら、最初から此方でも御免蒙るんだつた』

『何んや、失敬な男とは？他人の娘に附文する男と何方が失敬や』

『オイ、オイ君！よく考へて見給え。僕は、其の手紙を君に宛て出したんぢやないよ。君の妹かどうかは今知つたのだが、喜美子と云ふ女に出した手紙だ。其の封筒にも親展と書いてある筈だが、親兄弟の仲でも、親展としてあるものを、本人に無斷で開封すると云ふことはなからう。君だつて、其の位の教育は受けてゐないかね』

ムキになつて斯う云つた時、喜美子の兄と云ふ男は急に

『あ、は、は……』

と、人を馬鹿にしたやうな笑方をして、

『教育が聞いて呆れる！それぢや貴方は、よほど教育のある人かね、さうだつたら、他人の娘に附文をして良いか惡いか位は判つてゐるやらう？馬鹿らしい！』

昌造は、附文、附文と云はれることからして第一、氣色がわるかつた。

どツちにしても、こんな物の判らない奴を相手にしても始まらないと思つて、昌造は、其の儘、相手にならぬやうにしてゐると、

『口だけは、人間並みに叩きはるが、どだい、貴方のやうな男が、女に、附け文をするのからして間違つて居る。よウ、自分の顏を鏡に映して見るとよいが。その顏で女に惚れられやうなんて、蟲がよすぎるが……』

『フ、ン。顏ばかりで女は惚れないよ。兎に角、モウ判つたから歸つて呉れ給え！』

『歸れ云はんかて歸るが、これからは妹に附文なんかされては絶對に困る。二度と云ひ、斯う云ふことをしたら、警察に訴へるで覺悟しやはるがよい』

歲末特別警戒は これこの通り！

新京署一齊檢索の結果は 被疑者僅かに四名

歲末の接迫と共に市内外の警戒網は一層嚴重を極めてゐるが新京署では四日午後十一時から五日午前二時にかけて全署員非常召集を行ひ附屬地内の朝鮮人、滿人旅館、下宿屋の一齊檢索を行つたが今まで毎夜續行されてゐる特別警戒が利いてゐるので僅かに四名の被疑者を檢擧したのみであつた

新年號雜誌のトップはキング

附錄附きけふから發賣

お待ち兼の新年號雜誌がそろ／＼着荷發賣されます……まづその

トップを 切つたのが例によつて講談社のキングで四日朝の列車で大量到着、ミツワ書店、森野、大阪屋號その他市内各書店でけふから賣り出しました、八種類位の大附錄附で定價は當地で七十七錢、附錄は第一附錄が四六版の古今名歌集（百二十八頁）第二が四六版の名俳句集、名川柳集（百二十八頁）第三東西名詩集、名吟詠漢詩集（百四十頁）第四名君主集（百八十頁）第五最新歐洲大地圖、家庭娯樂餘興大集（スゴロク）第六重要番附一覽表十一種など、いつも附錄戰をリードしてゐるキングは飛ぶやうに賣ゆきがよく

引續いて 第二回、第三回と着荷の豫定、なほキングの外に講談倶樂部、富士、日の出、オール讀物、モダン日本等娯樂ものも五日あたり着發賣され少年、少女ものも七日、八日ごろにはつく模様

高級オーバ專門の泥棒捕はる

會社病院等で高級オーヴアー專門に荒してゐた窃盜犯が四日夜新京署員に逮捕された

四日午後七時頃新京署員が市内富士町三丁目附近を警戒中擧動不審の男を發見誰何すると逃走したので追跡逮捕本署に引致嚴重取調べると本籍朝鮮京城府黄金町二丁目生れ住所不定無職李聖圭（二四）で李は十一月十五日頃線區司令部から毛皮オーヴアーを一着窃取したのを手始めに南廣場電々會社電話局、日本橋通電業公司營業所内、大同大街康德會館内龍業公司、滿鐵醫院等から高級オーヴアーを窃取し藤井健治、甲斐一郎、金谷重光等の名前を用ひて市内各質店に入質しては花柳界方面にて費消してゐたもので、なほ餘罪多數ある見込みで取調べ續行中

宿料踏み倒し

本籍岡山縣生れ公主嶺柳町一四原田正志（二四）は十一月十八日から同二十七日まで市内日本橋通旭ホテルこと森重六方に投宿々料五十五圓六十錢程滯つたので請求すると今金はないから就職して支拂ふと言ひ殘して逃走したので旭ホテルでは新京署に屆出で目下原田の所在を捜査中

寫眞 蒙古司法會議は本日午前九時より公會堂二階會議室に於て開催された

街頭に物乞ふ二十九邦人女

ヘロが遂に今日の彼女に！

蜘蛛の巣のやうな頭髮にあか泌みた毛布に身を包み煙突からでも出たやうな顏して苦力にさへ笑はれて門から門へ物乞ふてこの寒空にきのふは公園けふは軒下と居所定めずいまは飢と寒さで死を待つてゐるモヒ中毒の發人邦人女性が國都を街から街へ流れ歩いてゐる

原籍 和歌山縣日高郡御坊町六百十七番地住所不定東芝ハマヱ（二九）がその發人である、彼女は年端もゆかぬ十四の時に親元離れて大阪玉屋モスリン店に女中奉公に働き、十七の春郷里和歌山の日高紡績工場の女工として働き、再び大阪で二十一まで女中奉公を續けたこれまでは普通の道を踏んで來た彼女にも、昭和七年六月當時の滿洲景氣の宣傳にうかれてやつて來たのがそも／＼の始り血も吸ふやうな悪辣な桂庵の手に前借四百圓で身賣りされた處が熱河承德家屋明月樓であつた、こゝでヘロの味を覺へて赤峰、朝陽と歩き廻つて去年の暮南滿から一飛びに北滿綏芬河の料亭一葉に三百七十圓で鞍替へしたが始め吸つてゐたヘロはます／＼量は殖へ毎日血管注射までかくれてやるやうになり始末におへず

樓主 から三百七十圓の前借はいらぬから歸つて呉れと追ひ出されてこの秋十月始めに新京へついた、新京でも入れられる家があらう筈はない、終に門口に立つては日に三十錢のコカイン注射で餘命を續けてゐるのである、さる日新京署保安係で知人のゐると稱する公主嶺へ送るべく新京公主嶺間の乘車券を惠んでやつたこともあつたが驛で切符の拂ひ戻をうけて注射したこともある

日本商議總會出席の 石崎會頭歸る

滿洲からの提案悉く採擇

東京に於いて開催された日本商工會議所定期總會に出席し昨夜歸京した新京商工會議所會頭石崎廣治郎氏は往訪の記者にけさ自宅で次の如く語つた

今度 は日本商工會議所の第八回定期總會並びに日滿實業協會の總會に出席して來ました、滿洲商工會議所總會へは滿洲商議聯合會から四件を提出したのですが、その内通貨統制斷行要望の件は昨年から提出してゐたものですがその後實際に一先づ具體化を見たので自發的に撤回しました、で第一の對支經濟工作積極化要望の件ですがこれには色々と議論も出まして結局こちらの趣旨を貫徹せしめることを條件として常議員會に一任することになりました、次に滿洲國課税に關しての決議ですがこれは各方面とも會談し急激な變化を來さしめないであらうとの見透しがついたためこれも常議員會に一任し、提案者の趣旨に基づき適當なる處置を講ぜしめることになりました、第三の滿洲國に於ける自由企業範圍擴大並に條件緩和方要望は誰しも至當と認めるところで異議なく可決しました、滿洲關係の問題はこれだけでしたが、總會に提出された全議案を通じ、又内地の最近の經濟界の動きを見て特に感ぜられたことは一つは中小商工業者の問題でありますこれは總會では主として提出討議されたのですが、本來農業國であつた日本、その農村が困つてゐる、所がよく調べて見ると日本でも歐洲先

進國 の如く實際は農家から商工業者の範圍に移るものの數が增加してゐる、この割合は今の所農民が内地全人口の五割弱、中小商工業に含まれるものが四割前後となつてゐます、所でこの中小商工業者が全體的に經營難を訴へてゐる―これはよく考へねばならぬ問題であり、商工省、農林省等でもこのことをよくわかつて來たことが察知されました、次に私が強く感じたことは今まで一般に輕視されてゐた小賣商人、これは本人たちも無自覺だつたのですが、これが實際社會の流通過程に於いて大きな働きをしてゐること、それ／＼の專門の商賣に在つて需要を見越し註文を發しこれを取寄せて需用者の手に屆けるまでの仕事が今の經濟機構に於いては決して輕視さるべきでないこと、このことがみんなに了解されて來たことがはつきり感じ取られました…

記者は尋ねた

その 問題については滿洲では當然官吏消費組合等の再検討が必要になるわけですね？

石崎氏は さうですね と答へ

言葉は簡單であつたが、全滿の日本人商工業者を代表して東京に於ける日本實業界首腦部の大會議に出席したその心構へを堅持した面持ち―御留守中に會頭重任ときまりましたですね といへば、氏は もうやめさして貰ひたかつたのだがさうも行かずね…と時間東り辭する記者を送り出した

民間水上機に無電設備

【大阪國通】短波無電を利用して空より天候を通信し空陸連絡して空の安全を圖るため日本民間水上機に我國最初の無電設備を施すこととなつた大阪＝白濱、大阪＝別府間を空輸する日本空輸研究所では本年末以來主宮航空官と協議の結果使用機九機に無電設備を施すべく研究中であつたが四日大阪航空局大阪出張所に右認可方を申請した、同研究所では認可あり次第施設に着手し二月初旬頃から實用化する事となつてゐる、受信所は取敢えず大阪木津川飛行場に設置する筈である

水上日本の躍進

新記錄多數

【東京國通】日本水上競技聯盟では本年度日本新記錄を五日發表するが新記錄四十五ケ記錄七日本國際新記錄六の多數に上つてゐる日米大會等の刺戟による男子競泳の記錄は千五百自由型並に背泳各種目を除いては全部更新され非常な躍進の跡が窺はれる又八百の牧野選手八百リレーの日本チームの記錄は當然世界記錄の公認を得るものであり長水路世界最高のものも百米、二百米、四百米各自由型、百米、二百米平泳等が數へられる、皮肉なことには世界各國が爭つて短水路の記錄を申請してゐるのに對し本年度我國では短水路記錄が一つも無く全部れ十米プールで出來てゐる、新記錄中の最高記錄左の通り

△百米 五七秒二 遊佐選手
△二百米 二分一一秒二 遊佐選手
△三百米 三分三二秒〇 根上選手
△四百米 四分四五秒二 根上選手
△五百米 六分九秒八 牧野選手
△八百米 九分五五秒八 牧野選手
△百米平泳 一分一三秒〇 小池選手
△二百米平泳 二分四一秒二 小池選手
△二百米背泳 二分三五秒二 吉田選手
△二百米リレー 一分四六秒〇 高村、志村、阪上、高橋
△四百米リレー 三分五五秒六 志村、平野、遊佐
△八百米リレー 八分五二秒二 遊佐、石原田、牧野、根上
△三百メドレー 三分二〇秒八 吉田、小池、遊佐、秋吉

新年互禮會の申込は廿日迄

今年も受付始まる

來る一月元旦の日滿官民合同新年互禮會は當日正午から記念公會堂で開催されるが會費一圓、申込と同時に會券引替へのはずで受付は地方事務所庶務係、なほ名簿作成の關係上二十日午後四時を以て締切ることゝなつた

吾等の明星を送る 盛んな催し

瀧三七子孃の後援會生る 近く發會式を擧行

輝やかしい名譽を擔つて晴れの世界オリムピックに出場するわが國スケート界の明星瀧三七子孃の首途を祝ふため、出身地新京をあげて後援會組織の議はさきに町内聯合會を中心に起つてゐたが、いよ／＼來る廿二日記念公會堂にて發會式をあげ、當日正午および午後六時から晝夜二回に亘つて送別演藝會を盛大に開催することに決定、黎明舞踊三曲合奏、藝妓連の手踊などあり、瀧孃の挨拶があるはずで、また當日西公園リンクでは故國を去るに臨んでその妙技を一般に公開することゝて各關係者準備を整へることゝなつた

きれいどころに人氣を呼ぶ小太夫一座

寄ると觸るとこの話のみ

梨園の寵兒市川小太夫、河原崎權十郎の來演で最も力こぶを入れてゐるのは何といつても花柳界だがそのうちでも、小太夫と振分髮の時からの幼馴染みだつたといふ料亭一曙一の錦花さん、延見子さんのお芝居なら一度も缺かしたことのないといふ「千鳥」のはぎさん、權十郎とはどうしても忘れ難い思出の數々があるといふ「千鳥」の千代吉姐さん嵐寛壽郎とともに映畫のスクリーンに潑溂たる男前をみせる嵐璃徳さんとなら死んでもよいわと大變な氣焔をあげてゐる「八千代」の豆千代姐さんやお花さんたちの鼻息の荒いことまるでお客さんの百人位自分が觀劇につれて行つてやるといつて意氣込み、又大吉、鯉川、開花などの美しいところもこのところお芝居に行かなければ沽券に關するといつたありさまで同一座に對する人氣はいやが上にも沸騰してゐる

神社の話題（標題）

特別奉獻者へ 木杯授與

明六日午前十一時から擧行される新京神社儀式殿落成式に引續き、特別奉獻者の感謝式を行ふが、當日は武田總代長以下各總代參列の下に既報の特別奉獻者六氏に對し記念として三重ねの三杯一組づゝを授與することゝなつた

小太夫一座の座席豫約

白熱的な人氣を呼んでゐる小太夫、權十郎、璃徳、延見子一座東京大歌舞伎の開演が愈々旬日の後に迫つたので市内各方面ともその噂話で持ちきりの態で市内前賣觀劇券發賣店公會堂食堂には場取りの申込みが殺到してゐるが前賣券發賣店では觀客のため出來るだけの便宜をはかり座席豫約に應ずることゝなつてゐる

モンテカルロ開場

新京ダンスホール界に清新な動きを見せて、豐樂路に明快に建築されたモンテカルロはゆふべから開場された、同舞踏場では午後六時から關係各方面多數を招待、藝妓と女給たちのサアヴイスのうちに暫らく時過ぎ、正八時、ステーヂでタンゴ曲「なつかしモンテカルロ」を演奏する裡に、華やかに四十數人のダンサーが分列式風にホールに入場、山市太平氏の模範ダンスありそれより客も新來のダンサーたちも投げられるテープをくゞり五色の照明光のかげで夜ふけまで踊り狂つた

中央飯店披露

豐樂路に新築された滿洲並に西洋料理の中央飯店（賓宴樓系）は六日から開業するが之に先立ち昨四日午後五時から滿日言論機關代表を招待披露した

あす（六日）

△新京神社儀式殿落成式並に特別奉獻者感謝式 午前十一時同神社内
△歲末同情週間委員會 午後二時公會堂

今晩の主なる放送番組

▲六・五五義太夫名筆吃又平（土佐將監館の段）（大阪）―文樂座―淨瑠璃竹本津太夫外▲七・四〇三曲根曳の松、樂（一）（三元放送）▲八・〇〇管絃樂（一）命名式序曲（二）ジークフリードの牧歌（東京）新交響樂團

けふの銀相場

國幣對金票 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 ―
現大洋對鈔票 ―

故小澤氏令孃 告別式執行

入舟區長小澤禎吉郎氏三女良子さんはさきに滿鐵醫院に入院中逝去したが、當時他に取込みのため告別式を延期中のところ來る八日午後二時から曙町東本願寺で執り行はれることになつた

日滿軍警の合同慰靈祭

來る二十八日吉林で

【吉林支局發】昭和八年十二月東滿防衛の重要任務を帶て當地に開設された第〇〇〇〇隊にては今回間島吉林兩省の肅清工作が一段落を告げたるを機會として過去三年間に於ける尊き犧牲者の冥福を祈るべく來る二十八日頃新居留民會公會堂に於て日本側警察官及滿洲側軍警の犧牲者に併せて盛大なる合同慰靈祭を擧行することゝなり已に其準備に着手してゐる

太田軍醫急逝

【チチハル國通】兒玉本部隊軍醫部太田實軍醫は十一月二十四日發病し二日午後流行性腦脊髓膜炎を併發し、衛戍病院で急逝した同院では軍の内外に亘り大消毒を行つた尙告別式は六日擧行の豫定である

モンテカルロの第一夜を報告する、この日ダンサー四十三名、まだ來る由▲會館から小山、山路、山下ほか一名行つてゐる▲奉天の明星から齋藤スターから吉田兩君が來てゐる▲床が出來立てで少しゴツ／＼する、歌手名前未定も、少し身振りを入れるといい▲オツと、パレスにゐたマリーモダン銀座のマリ子も行つてゐます▲ニュース一つ、十五日からキヤピタルへはフィリッピンのバンドが加はる

天氣と氣温

明日の天氣 西の風晴一時曇
日の出 午前六時五十八分
日の入 午後四時 一分
月の出 午後一時 五分
月の入 午前二時 十二分
けふの氣温 最高零下 三度一 最低零下 九度四

演藝

中國映畫問題と滿洲國映畫文化運動（四）

王化純

五、映畫文化運動の現狀

滿洲國映畫文化運動の現狀を見るに、興行映畫方面は何等の對策が講ぜられず、自由競爭となり、市場は米國映畫、中國映畫、日本映畫、歐洲映畫等が入り亂れてゐる、しかもこれが勢は日一日と旺んになり各映畫會社は將來に於いて發展性ある市場として滿洲に進出を劃策してゐる、然るに滿洲國自體には未だ國產映畫の製作機關を持つてゐない建國玆に四星霜、一本の國產映畫、滿洲映畫は製作されてゐない、吾々は一日も早く吾等の映畫の出現を希望する譯である。

一方滿洲國政府、滿鐵、鐵路總局等で製作される文化宣傳映畫乃至は敎育映畫等は完成公開されて來たが、殆んど總てが記錄映畫であり、その映畫的手法が或る程度の標準に達して居るために、現在の滿人の頭腦では理解に困難なものが多數あるのは遺憾である、滿人の映畫觀賞力を理解し、映畫的には初步な表現方法でもよいから滿人に解る映畫を製作して欲しい、また政府各部の映畫には日本の敎育映畫を購入して巡回上映されるものがあるが、これ等も滿人敎育の映畫としては適當なものとは云へない、何んとなれば日本に於いては滿人大衆を對照とした敎育、敎化映畫は製作されて居ないのであるから、智識の程度に於いて相等の距離のある滿人には理解が困難である、要するに現在の滿洲國としては、興行映畫にしろ敎育、敎化映畫にしろ滿人自體のものを持ち得ないと云ふ狀態に在る、折角、文敎部、民政部、軍政部、協和會等の巡回映寫班等が、映畫工作に全滿各地を巡回し、努力しても內容的に浸透する何物をも持たないと云ふ淋しさがある

更に映畫文化工作が、各部各機關で不統制に行はれて居るために、映畫文化工作の恩惠に浴することが重復偏重する傾向がある、以上の觀點よりして吾々は滿洲國人として映畫を製作する映畫製作所と、映畫文化運動を實施する指導統制機關の設立の急務を痛感する、これは滿洲國國策遂行の見地からしても必要な問題で、爲政者の積極的考慮を望む次第である、歐米諸國の映畫國策、殊にソヴエート聯邦の映畫事業の國家管理の實狀を見る時、益々この感を深くするのである、尙ほ滿洲國に於ける映畫文化運動に對する具體案に關しては稿を改めて述べることにする（完）

新京キネマ 長春座 新番組 ―あすから一齊に―

新京キネマ、長春座ともに六日より寫眞替りであるが「リングの王者」と「蹴手繰り音頭」が興味深い對蹠を演ずる師走初旬の邦畫代表プロの取組みである

―新京キネマ―

△日活現代「リングの王者」

番瀬英次郎が拳闘界の花形堀口選手を起用してものした拳闘映畫である、例によつてスポーツ精神を根定に友情や姉弟愛が謳歌されてあるが、異色ある作品として拳闘ファン等にも喜ばれやう、助演者は中野かほる西條エリ子等

△日活時代「子守唄武州嵐」忍三哲のオリヂナルものを宮田味津三が監督昇進第一回作品として發表するもの山本禮三郎と小林重四郎が共演赤尾の林藏と秋山要助の交情を例によつて好ましい風格で點出してゐる、助演者は柳惠美子、鬼頭善一郎高津愛子、絹川京子等

△日活現代「妻君新戰術」寺尾幸夫の諧謔小說の映畫化山本嘉次郎の作品である、谷幹一と峰吟子が主演する撮影は松澤文男

―長春座―

△下加茂「蹴手繰り音頭」大毎東日連載長谷川伸原作の映畫化、井上金太郎が監督する、旅の女お才を中心に卷き起る道中の葛藤を描き阪東好太郎、飯塚敏子、月形龍之助等が活躍をする

△第一映畫「虞美人草」夏日漱石の原作を伊藤大輔が潤色し高橋春雄が脚色して溝口健二が監督してゐるから良心的なものが期待出來やう、月田一郎、夏川大二郎、三宅邦子、大倉千代子等が主演、キャメラは三木稔異色ある作品として一見の價値があらう

△コロンビア「九番目の客」別項紹介

チャップリン「輿論」の製作に着手

「黃金狂時代」「街の灯」と次々に銀幕の豪華版を發表して來たチャーリー・チャップリンは、最近また「當世」を製作して、十月十一日にニューヨークで封切つたと傳へられてゐるが更にまた彼は休息の暇もなく、直ちに次の映畫「輿論」の製作に着手したといふ、これはナポレオン・ボナパルトの生涯を主題としたトーキー映畫であつて、チヤプリン獨特の哲學や人生觀により裏づけられたものらしくシナリオはバーナード・ジンメルにより書き下されたものである

九番目の客

コロムビア映畫、オウエン・デーヴィスの原作になる舞台劇「恐怖城」より取材したミステリイ・ドラマで、無名の招待狀によつて招かれた八人の客がビルディングの一室でラヂオの警報とともに一人々々殺されてゆくと言ふ仲々興味深い探偵映畫である 監督はロイ・ウイリアム・テル、撮影はベンジャミン・クライン、主演者はドナルド・クック、ジエネヴイブ・トビン、ハーデイ・オルブライト等、六日より長春座上映、スチールはその一場面

頑張れキャグニー ―ワーナー支社に入荷―

此程ワーナー日本支社にジエームス・キャグニー、パット・オブライエン、フランク・キユウ、オリビア・デ・ハヴイランド主演、ロイド・ベエコン監督スタッフで製作せる、兄弟愛と母性愛の織りなす感激を描いた「頑張れキャグニー」（假題）が入荷した。尙此の映畫に於けるフランク・マキユウは米國俳優ギルドから演技賞を獲得してゐる

小太夫一座の演題手引（一）

お目見得だんまり

近く來演する市川小太夫、河原崎權十郞、嵐璃德、中山延見子大一座の新京における演しものは既報の如く初日（十四日）二日目（十五日）には第一、天竺德兵衞「だんまり」第二、朝顏日記、第三女勸進帳、第四、關の彌太つぺ、第五供奴を上演することに決定した。

◇……◇

第一のお目見得だんまりは吉岡宗觀の首級を河原崎權十郞が扮する天竺德兵衞が蟇の妖術で奪ひとり木曾の山中に逃込んだのを、東山殿からその首級を奉れといふので東山の家臣黑田（市川家一郞）と寺田が受取りに來り、德兵衞の手下坂井小藤太（尾上樂五郞）と奪合ひをしてゐるところへ女賊鹽若のお松（中山延見子）が現はれこの三人とわけもなく踏んまへてしまふ、そこへ左右の藪疊、辻堂、洞穴などから盜賊天明太郞（小太夫）以下が現はれて歌舞伎情緒いとも豐かな「だんまり」となる、一方水門の樋の口からは一匹の大蟇がのさく〳〵と這ひ出すので花四天が鉾を揃へて突いてかゝるが忽ち蟇の妖術にかけられ、五體はすくんで悶絕してしまふ、そのうち蟇は百日鬘の天竺德兵衞の姿と變り手には宗觀の首級を持つて豪快な笑を殘し六法を踏んで花道へ入るといふ筋で、小太夫、權十郞、延見子のほか舞樂猿田彥太夫、實は夜叉五郞に扮する嵐璃德、熊谷次郞直實實は俱利迦羅金太に扮する澤村半十郞、武者修業塚原小太郞に扮する中村高三郞六部金五郞に扮する市川中三郞加納縫之助に扮する中村仙笑などいづれも幹部級總出演の豪華たる豪華版である

音樂

豐樂劇場が開館を控へて他位的なハンデキャップから終演時間を氣にしてゐる、ちよつと見渡して、ファンとの對應に手近な確定的なものを持つてゐないだけに、此の劇場もこゝ暫くの間觀客の吸集に一通りならぬ苦心が豫想されやう、色々ファンの希望を聞いてみるのもいゝとして、早く獨特の興行方針を確立することが必要であらう▲公會堂が小太夫の來演を機に舞台を擴張し花道も設けるといふ、どの程度のものであるか知らないが、また理事會を刺戟して變なことにならねばいゝがと思ふ

今日の演藝街

△長春座―五日まで、クローデット・コルベールの「輝ける百合」林長二郞、田中絹代の「私の兄さん」阪東好太郞、飯塚敏子の「鈴木新內」

△新京キネマ―五日まで、ハンス・ヤーライ、マルタ・エガートの「未完成交響樂」市川春代、中田弘二の「三家庭」キートンの「キートン將軍」

十二月六日 金曜 丙辰 先負 執 鬼宿 二十一日 十一月 一日

- 一白の人　一時凌ぎの策略は後々迄の邪魔となるべし　辛と壬と子が吉
- 二黑の人　氣懸り無く人に相談して指導を仰がるに吉　卯と乙と未が吉
- 三碧の人　多難の日萬事差控へて安全を期すべきなり　丁と庚と辛が吉
- 四綠の人　不利と知りては躊躇せず斷念し更め出直せ　庚と辛と乾が吉
- 五黃の人　意志堅實に希望に向つて步みを運ぶべき日　甲と乙と未が吉
- 六白の人　發展力を含める日勇躍邁進を要す希望達成　巽と未と庚が吉
- 七赤の人　同志を得て物事の進捗速かに利益も亦多し　辰と未と庚が吉
- 八白の人　順序正しく足並揃へて一家協力すれば發展　甲と卯と未が吉
- 九紫の人　新計畫は來るべき年の幸福の基となるべし　丁と未と丑が吉

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵税一ケ月五拾錢
廣告料　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話（編輯部專用三二二五　營業部專用三三〇〇）
發行人　十河栄忠　編輯人　松本男　印刷人　水越内之介

宋哲元氏愈よ昨夕　平津衛戍司令の辭表提出
南京側の働きかけを避けて　自治達成の具体案練る

〔北平五日發國通〕宋哲元氏は今夕平津衛戍司令の辭表を提出すると同時に北平を去り某地に身を匿し南京側の働きかけるのを避け事實上南京側代表たる何應欽氏との會見を回避し、自治達成への具体的第一歩を進めることとなつたが、宋氏の行先については天津張家口の外北平郊外の西山が最も有力である

今後如何に行動すべきやにつき至急請訓電を發した

南京政府を離れて　自治委の組織へ
日本と提携、共產黨徹底撲滅へ

〔北平五日發國通〕宋哲元氏の總參謀陳覺生氏は記者に語る

何應欽、陳儀氏等は來平後自治派要人を或は嚇し或は意は聊かも動かされないのみならず認識不足の南京代表の巧言令色は聞く耳を持たぬとの確固たる態度を持してゐるのが事實である、南京側を相手にせぬといつても何も好んで事を構へる必要はないから宋氏は或種の行動によつて事實上南京側の策動の餘地なからしめることになつた、如何なる行動を採るかは只今の處言明を避けたいが今夜中には實行をみる筈であり、宋氏の北支時局方針は南京側勢力の介入を排除して現に北支にある人材のみを以て自治委員會を組織する

此委員會は全然南京政府との關係を離れた自主的なものたるを要し自治委員會成立の上は日本との徹底的提携、共產黨の積極的撲滅に向つて邁進するといふにあり國民黨は當然北支から排撃されるわけである

平生氏を御前に　ブラジルの近狀御聽取

〔東京國通〕天皇陛下には五日午後二時から宮中御學問所に御茶の會を催され、曩に遣伯經濟親善使節としてブラジルに赴いた平生釟三郎氏を召されブラジル最近の事情に就き御聽取、湯淺宮相鈴木侍從長、本庄武官長以下の側近者にも陪聽差し許された

宋哲元氏から　何氏に離平を勸告

〔北平五日發國通〕昨夜から本五日午前一時に及んだ最後の最高幹部會議の結果、南京政府との絶緣、河北、察哈爾兩省、北平、天津兩特別市の自治斷行を決意せる宋哲元氏は午前一時半極秘裡に自動車にて北平を離れ天津の自邸に閉ぢ籠つた、宋哲元氏で北平を去るに先立ち一切の官職の辭表を提出すると同時に何應欽氏に對し

余は國民黨の排擊と北支の自治斷行を二大モットーとして邁進するものであつて貴下等とは根本的に全然相容れぬ立場にあり、貴下等が此上北平に滯在されても無意味だから一刻も早く南京に歸られたい、貴下等が北平にある間余は絶對に姿を現はさぬであらう

と通告、自治斷行の態度を明確に表明した

何應欽　請訓電を發す

〔北平五日發國通〕何應欽氏は五日午後二時南京政府並に蔣介石氏に宛てゝ宋哲元氏の辭任顛末並に天津行きを報じ

英佛伊間に進む　伊エ和協工作
石油斷交前に讓步勸告

〔パリ四日發國通〕伊エ兩國軍が事實上休職狀態に入り戰況の膠着するに至つたのと呼應し英、佛、伊三國政府間の和協工作は着々進捗し週末英國ホーア外相と佛國ラヴアール首相との會見を契機として和協工作は愈々成果を收める段取りと豫想されて居るが、右會談に於て和協工作に仕上げを加へた上英佛兩國政府の最後案としてムツソリーニ首相に提示、石油斷交案の實施に先立ち適宜讓步する事を勸告するものと見られてゐるが和議試案の要旨左の如し

一、エチオピアの領土を二分しアマリツク族固有の領域とアマリツク族が征服に依り合併した領域とを區別、前者に就てはイタリー政府に經濟上の權限を附與し、後者に就てはイタリー政府に一部領土を割讓乃至植民上の特權を承認する

一、エチオピア政府は北方に於てアドワ地方、南方に於てオガデンの一部イタリー政府に割讓する

一、北緯八度以南即ち東は英領ソマリーランドの國境線より西方はツアナ湖から垂直に南方英領國境まで一線を劃した領域内でイタリー政府に植民許可並に貿易上の特權を附與する、但し右領域に關する主權はエチオピア皇帝に留保する

一、以上の代償としてエチオピア政府に海への出口を附與する、イタリー政府は自國領エリトリアの一部を割讓しアッサブ港並にアッサブの海岸をエチオピア政府に提供すること

臨時土地制度調査會
權威を集め研究進む

全滿土地の基本的調査は人心の安定と財政の基礎を鞏化する上の緊急事として鋭意土地制度の研究、土地權利の歸屬に關する調査並に行政區劃の調査をはじめ土地問題に對する全面的活動を續けてゐるが二年度初め以來着々準備を進めて來た之等内部的基礎準備も略々出來上つたので今回臨時土地制度調査會を設けて今後の方針並に技術的諸問題の大綱を決定すべく十二月十六七、八の三日間中銀倶樂部會議室に於て委員會を開催する事となつた、而して該委員會は土地局首腦者及び滿洲國中央各關係機關司、科長、局長日本側各機關の代表者並に土地問題に關する日本の權威者を委囑した實質的大委員會で京都帝大教授石田文次郎博士石井英橘中將、東大教授我妻榮博士、滿洲經調員天海氏等は今明日中に新京着、直ちに現地狀況の研究に當つた上委員會に臨む豫定である

五日午前一時半　宋哲元氏北平を去る

〔北平五日發國通〕宋哲元氏は五日午前一時半自動車で武衣庫の自邸を出で北平を去つたが、行先は今のところ不明である

何應欽が居る間は　北平には歸らぬ
宋氏三重大提議を通告

〔北平五日發國通〕宋哲元氏は蕭振瀛、秦德純氏等最高首腦部と武衣庫の自邸に於て會合、最後的態度に就て協議せる結果何應欽氏に對し

一、北支に於る國民黨を絶對に排擊す
一、北支の自治を要求す
一、平津衛戍司令並に第廿九軍々長の職を辭す

との三重大提議をなし併せて貴下の北平滯在中は再び歸平する事なしと通告し、五日午前一時半秘密裡に天津に去つた、宋氏の提議並に天津行は北支自治を飽く迄斷行するといふ固き決意の表明であり、之に對する何應欽氏の出方如何によつて北支は重大なる形勢となる虞があり、我出先軍部は嚴重に監視してゐる

に備へ塘沽で待機中であつた第四百十四驅逐隊所屬葵、菊の二艦の中、菊は居留民保護のため三日朝塘沽發白河を遡江し官民多數の歡迎裡に午後一時來津、佛租界郵船碼頭に繫留され邦人警備の任に當つてゐる

飛行機による　輸入課税に就き布告

〔圖們國通〕圖們稅關では今回航空機による滿洲國への輸出入品及び旅客携帶品の課税方法に關する布告を發し之を十二月三日より實施する事となつた

右によると航空運送業者は豫め稅關へ

一、航空輸送業者の名稱、事業の本據、代表者の氏名
一、定期航空路
一、定期航空機の離着陸日時

を屆出置き、其の機長は、毎離着陸時に際し稅關の定むる樣式により左記の書類を稅關官吏に提出せねばならぬ但し小包郵便物に就ては別に之を定む

一、艙、着陸時間、二、積荷目錄三、機用品目錄、四、稅關申告書、五、旅客人名簿

丁實業相赴哈

丁實業部大臣は隨員四名を隨へハルビン農事試驗所、中央卸賣市場、森林事務所等の視察のため五日午後五時五十分ハルビンに向ふ豫定

南京代表　空しく離平か
宋氏は飽く迄國民黨に反對

〔北平五日發國通〕宋哲元氏は遂に南京政府から離脫し北支の自治を斷行する決意をその行動によつて明確に表明した、宋哲元氏にうつちやられ天津の私邸に引籠つてしまつた、宋哲元氏にうつちやられた日本側外務、軍部兩出先當局からも總スカシを喰つた何應欽、陳儀氏等南京代表は今は取り着く島もなく青くなつて大狼狽し、蕭振瀛、秦德純氏等宋哲元氏部下の要人に向つて猛烈に最後的切崩しを試みつゝあるが、宋派の要人は何れも我々には何等の良策もなく如何ともせん術なしと相手にならず、南京代表は萬策盡きた形で南京政府に對策を請訓中であるが宋氏が國民黨の排擊を表明してゐる以上妥協案のある筈なく、結局何應欽氏一行は數日中に離平の已むなき狀態にある

邦人保護に　驅逐艦菊天津着

〔天津五日發國通〕北支不安

樞府委員會で　日滿郵便條約案審議

〔東京國通〕大演習其他の事情で延々になつてゐた日滿郵便條約案に關する樞密院の第一回審査委員會は六日樞府事務所に開會、樞府側から一木平沼正副議長荒井委員長、外各委員、政府側より廣田外相望月遞相、對滿事務局總裁として川島陸相及び金森法制局長官その他關係官出席、先づ廣田外相より右條約案の内容を説明、質問に入る筈であるが、日滿郵便條約は兩國間の郵便事務を圓滑ならしめんとするものであるから條約案其のものには格別問題はないらしいがこの條約締結は滿洲に於ける我が治外法權撤廢の先驅をなすものであるから治外法權撤廢に對する帝國政府の態度方針等について相當質問が行はれる模樣である

冀東自治下の六稅務に對し　統監權宜處置辦法
—昨日南京政府から通達—

〔南京五日發國通〕財政部は冀東自治下の六稅務に對する統監權宜處置辦法を制定、四日天津海關監督及び河北、山西察哈爾、綏遠統稅局に通達した

皇軍慰問の　侍從武官派遣　日程改正さる

曩に發表せる第一線部隊慰問及國軍視察の爲派遣せらるる侍從武官日程中左の通改正された

▲哈爾賓、佳木斯方面
（差遣武官）陸軍歩兵上校　于宗謙
（隨行官）陸軍翻譯官　高見薰雄
十二月廿五日　新京發—同日哈爾賓着
廿六日　哈爾賓發—同日佳木斯着
同日　佳木斯發—同日哈爾賓着
同日　哈爾賓發—廿七日新京着

▲齊々哈爾、泰安鎭、洮南方面
（差遣武官）陸軍歩兵上校　金純善
（隨行官）陸軍翻譯官　高見薰雄
十六日　新京發—十七日哈爾賓着
同日　哈爾賓發—同日昂々溪着
同日　昂々溪發—同日齊々哈爾着
十八日 十九日　齊々哈爾滯在
同日　齊々哈爾發—同日泰安鎭着
同日　泰安鎭發—廿日洮南着
廿一日　洮南發—同日四平街着
同日　四平街發—同日新京着

濱田司令官歸任

新任濱田駐滿海軍部司令官は

軍縮會議に氣乘薄の英　國防問題に集中

〔ロンドン四日發國通〕軍縮會議の帝國代表部はグロブナーハウス内に事務所を設け諸般の準備に着手したが、イギリスでは議會が始まり軍縮より寧ろ國防問題がエチオピア問題と共に關心の中心となり新聞も軍縮會議を大々的には取扱つてゐない米、佛、伊の代表は六日頃着く豫定故軍縮問題が本筋に入るのは六日以後であらう、北支問題は新聞でも今の所大きく取扱はないが、郭泰祺大使が會議を前に頻りに暗躍して居り會議では表面的には話しを出さないでも聯盟が開かれる頃には可なり煩い問題とならうと見らる

綿布輸出高著增
年末統計ランカシアを抑へん

〔大阪國通〕輸出綿糸布同業會調によれば一月以降十一月末迄の輸出綿布高累計は二、五〇二、七七八、三一五平方碼で外國市場の各種輸入防遏策にも拘らず一月以降二十五億碼を突破して居り同期間中の新記錄を示してゐる、更に十二月綿布輸出を二億碼と見積れば二十七億碼の新記錄を現出することは必至でランカシアを抑へる事さへ出來やうと觀られてゐる

永見大佐近く東上

支那駐屯軍參謀長に榮轉せる軍政部顧問永見大佐は近日中東京へ赴き中央軍部と重要打合せを爲す筈であるが其赴任時期は東京より歸滿の後であるから十五日過ぎとなる模樣である

松井大將　支那情勢を陸相に報告

〔東京國通〕支那の視察旅行から歸朝した松井大將は五日午後一時半陸相官邸に川島陸相を訪問して支那全般の情勢支那側の對日眞意等に就て報告し對支問題に就き種々意見を開陳した

中銀週報（十二月三日）

自十月二十四日至同三十日

貨幣發行額	一六四、六五〇、九一六・一六
紙幣	一四四、三六六、九九六・三六
準備	七四、三三三、二六六・八七
保證	七〇、〇三三、七二九・四九
鑄幣	二〇、二八四、九五〇・〇〇

人事往來

▲野口多内氏（奉天□□會長）五日午後奉天へ
▲石井英猶氏（陸軍少將）同來京ヤマトホテル
▲伊澤道雄氏（鐵路總局次長）同
▲丁鑑修氏（實業部大臣）同ハルピンへ

航空往來

△山内勝貞氏（日滿土木）五日午前ハルピンより
△關谷哲太郎氏（洮安會社員）同洮安へ
△古澤文作氏（大連）同大連より
△松村淑郎氏（新京）同午後チ、ハルより
△山内靜夫氏（電々總裁）同
△古川太一郎氏（ハルピン）同ハルピンより
△湯淺叢智氏（大連）同ハルピンへ

偶語

昭和十年の國都の歩みを顧みると、到るところ躍進また躍進の連鎖で、吾等に取つて誠に快い記憶ばかりだ▼中でも特別市公署が韓市長就任いらい市政の刷新をはかるとゝもに例の五ヶ年計畫も第一歩に入り、着々豫期以上の成績をあげつゝあるのは既に一般の認むるところ▼この調子では名實ともに國都大新京の實現されるのも案外早からうといはれる、吾等市民にとつて何より心强いことだ▼本年の回顧で思出せば、特別市内の本年度滿人兒童の就學希望者が實に五千余名といふ驚くべき數に上つたが、うち入學を許可されたもの僅かに三分の一▼この現象は附屬地内でも同樣で、新らしく大經路小學校その他の實現を見たが、今のところ燒石に水の觀はないでもない▼それはとまれ、滿洲國成立いらい、かゝる素晴らしい就學熱の勃興は正に世界人に對する驚異であり、瞭々たる新興滿洲國の將來をトするものであらう

社説

蔣介石氏と秘密結社
藍衣社とその最近の活動

一

今日、南京政府の實相を檢討することが必要になつてゐると思はれる。現段階に於ける國民政府の實質を究明し批判するのには、數多い資料があり、その方法も種々あらう。ここには、全面的に、また社會科學的に取扱ふ代りに專らその豫備的方法として蔣介石氏が驅使してゐると稱されてゐる藍衣社についてその本體を明らかにし、一つの批判の材料を提供することにする。

二

去る十月一日、支那各地の漢字紙は一齊に國民黨中央黨部の機關たる中央通信社の次のやうな通信を掲載した。

「最近日本の各新聞は我國國情に對し常に中傷誹言を放つてゐるが、昨日またも藍衣社員二百名北支に潜入活動すとの謬説を宣傳してゐる、中央社記者が某中央委員と卅日本問題に關し談じたところ某中央委員は笑ひながら、所謂藍衣社とは神經過敏な者が腦の中で幻想してゐる架空のもので支那には此種の組織はない更に二百名の藍衣社員の北支潜入活動は更に荒唐無稽の説であると語つた云々」

これで見ると藍衣社の存在をてんから否定してゐるやうだが、そんなことを信ずるものは支那にもゐないだらう。最近數年來、支那に於いて反蔣要人への脅迫、暗殺、暴行、排日反滿行爲等のある每にその裏に藍衣社の動きがあることは内外均しく認めてゐるところである。

三

藍衣社なる秘密結社は、民國二十年の四全大會に際して何應欽氏の腹心で軍事參事たる劉健群氏が發表した「黨に提案する數項の意見書」に基づいて、右の劉健群氏、張治中氏、賀衷寒氏等が協議して

一、蔣介石氏を終身最高領袖とす

二、童捕系を以て中心機構に配し組織の擴大を圖る

三、國民黨の三民主義を奉じこれに配するに共産黨の組織を持來り更にファシストの鐵血精神を加へる

以上三大原則によつて結成されたものである。換言すればこれは蔣介石獨裁政權の確立を期するもので、昨年一月開いた同社中央幹部會でその綱領に

一、本社は中國の危急存亡を救ふを以て主旨とす

二、民主政治及び三民主義を放棄してファッショ主義を採用し、獨裁制の實行を目標とす

と明確な規定を決定してゐるのである。北支問題緊張して以來、藍衣社の策源地は武昌及び漢口に移されたと言はれてゐる。そしてその經費は蔣介石氏の手から、又武昌行營秘書處から支給されてゐるのを注意すべきである。

何應欽の北上と自治運動の動向

北平にて　金久保特派員記

國民政府軍政部長何應欽氏は中央の北支辨法を携行して二日保定に到着、北支自治運動の收拾に乘り出したと傳へられてゐる、同時に親日派要人福建省主席陳儀、江西省主席熊式輝、北寧鐵路局長殷同三氏も北上の途にあり陳儀氏は濟南に立寄り山東省主席韓復榘氏と會見、夫々北支の情勢並に中央の意向に關し重要協議を行ひつゝあり北支自治運動の動向はこれ等要人の北上を契機として何等かの急轉回が期待されるに至つた、而して南京政府は何氏の派遣によつて自治運動に對し何等かの積極的策動を行ふものとみられ宋哲元氏一派の彈壓が不成功に終つた時は實力の伴はざる極めて形式的な北支自治政權の樹立を容認するであらうと思はれる、之に對し宋、蕭等北支自治派將領が如何なる態度に出づるかは北支新事態の動きを方向づけるものとして重視されてゐるが、中央の懷柔や彈壓が如何に執拗に行はれやうとも事態は既に自治樹立の止むなき情勢を誘致しつゝあり、河北、チャハル兩省四千萬民衆の自治要望の聲は滔々として北支に擴大し宋氏自身も兩省の識者に自治確立を公約してゐるから、今更何應欽氏の北上によつて自治を捨てるやうな事はあるまい若しさうなれば民衆は宋氏を始め自治派要人を斷乎として排撃するであらうから彼等の自滅を早めるばかりである、自治に對する北支民衆の熱望は中央の意向によるも最早如何ともし難いまで根强いものとなつてしまつた

◇

南京における日支交渉に關して日本中央部が北支問題を外交々渉によつて解決せんとする意向を持つかの様に傳へられてゐるが、右は全く虚構な事實で有吉大使、磯谷少將は北支の事態は南京政府が思惟するが如き容易なるものでなく民衆の自治要望は全く動かすべからざる情勢にあるから、事態を充分洞察して北支自治を容認すべきであると南京政府の糊塗的態度に注告を與へただけで而も蔣介石氏は日本の好意ある勸告に耳を藉さず今回何氏を北上せしめ自治運動切崩しを劃策したのである

◇

既に戰區自治は宣言され、天津、北平兩特別市長程、秦兩氏は夫々南京政府に自治必至の通電を發して重大決意を表明した、傳へられる何氏の北支辨法たる五省行政委員會の設置は内容、構成が未詳であるが、若し同委員會が全面的に北支民衆の興望を容れ北支自治を容認したものであれば問題は急速に解決するであらうが、姑息なる懷柔策に過ぎなければ事態はます〳〵惡化し自治運動は革命にまで進展するものと豫想されてゐる。一方北平軍事分會委員長として蔣介石氏の股肱となつて北支攪亂、抗日反滿の策動を敢てした何應欽氏が今回の北上を機會に再び排日的言動を弄するならば我が軍の神經を極度に刺戟し或は急激なる混亂を招致するかも知れない、何應欽氏が北支自治運動に對し如何なる態度に出るかは今後の北支新情勢の動向を決定的ならしめるものであるが、自治運動は何氏の北上によつて一時遷延されることがあつても自治政權の樹立は結局落ちつく所に到着するであらう、殘されたものはたゞ時期の問題だけであるが、それとても事態は長く遷延を許さないやうになつてしまつてゐる

(十二・二)

最近に於ける特産界の展望(五)

立川久

特産相場の推移

滿洲特産相場は大體三段階に分れ其の線に添ふて變化するものと云はれて居る、從來の例に徵するに

1、出來秋に安く爾後出廻に追隨して漸次昂騰する場合

2、右と反對に出來秋から出廻の增加に從つて下落し、出廻の最盛期から出廻の減少に追隨して漸次下落する場合

3、變則的に突然的材料によつて…例へば戰爭の如き…亂高下ある場合

等を考へ得る。併して出廻の增加に追隨して下落し、出廻の減少に追隨して昂騰する右第二の場合が一番多く六、七割は之に屬すと云はれて居る。所で昨特産年度……昨年十月より本年九月……に於ける相場の推移を觀るに大體右第一の過程を辿つて居る即ち大連市場に於ける現物後場引値毎月平均を見るに左の如くである

月別	大豆 圓	豆粕 圓	豆油 圓
康德元年九月	四・二六二	一・二六六	九・〇八六
十月	三、六一九	一、二〇九	八、七七八
十一月	三、七七四	一、二三五	九、三三六
十二月	四、三八二	一、三五八	一一、八七六
康德二年一月	四、八〇五	一、五〇〇	一五、一一八
二月	五、一二七	一、五〇七	一六、六七二
三月	四、七四〇	一、四一〇	一四、五六八
四月	四、九一〇	一、四八八	一四、七〇〇
五月	四、六八一	一、五一四	一四、〇一三
六月	四、〇四〇	一、二二七	一一、九一九
七月	三、九九四	一、二七六	一一、七五三
八月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の如く端境期十月に於ける相場は大豆三圓六十一錢九厘、豆粕一圓二十錢九厘、豆油九圓八錢六厘と何れも前月に比し、安値に始まりたるも爾後漸次騰貴し二月には大連現物五圓三十四錢と近年稀に見る高値を示現したのであつた此の相場は所謂糧棧の買煽り相場と見られて居るが、右は一昨年に於ける相場が出來秋に安く之を買つて利を得た經驗と南滿に於ける水害、冷害等を眺めて一般に强氣の相場觀によるものである。

それ故に此の相場は思惑相場であつて多分に行過の感があり聽て訂正相場の來ることは余りに當然であつた。

果せる哉行過の結果糧棧の極度の資金難は金融業者の貸出警戒に拍車をかけられ、需要の減退も加はりて投物續出し、一波は萬波を呼び急角度の暴落を來して遂に本年六月末には大連現物大豆三圓五十四錢の高値より一圓八十錢の大巾下落を觀、玆に恐慌相場を現出し其の儘低堅く三、四ヶ月を經過したのであつた。

其の後相場の下落は採算關係から滿洲大豆割安となり、歐洲筋及油房筋の需要を喚起し日本農村經濟好轉の好材料も加はり漸次强調を辿るに至つた。

其の後七月の第一回收穫豫想の發表は豐作を告げ、伊エ紛爭の好影響もあり、市場は思惑筋の活動目覺しく、品薄と相俟つて大勢的には恐慌相場を脫出した感があつた、續いて第二回の收穫豫想發表は前年度推定實收高に比し約四十七萬瓲の增收を發表されたるも右は業者間の豫想に比し三十萬瓲及至五十萬瓲方少く一般の期待を裏切りたる感あり多分に思惑筋の活躍を警戒する向もあつたが既に豫想材料は出るだけ出盡したる後とて比較的平穩に經過した

十月に入りては大連建値の金建變更論擡頭し俄然市場の大問題化し、主に日系業者によつて唱へられ、奉天、新京、哈爾賓等の業者も之に和し可成りの勢力を示し、加ふるに鮮銀券の滿洲國内引揚から鈔票廢止迄臆測する者あり此の間銀より物への移行旺盛となり十月を迎へて思惑筋の買煽り猛烈を極め各品共一齊に暴騰するに至つた併して中旬以後に於ては鐵道のゲーヂ變更による貨車繰圓滑ならず、又奧地搬出も惡く出廻は極度の不振を極め爲に大連を始め各市場に於ては現物受渡不能を來し、相場は暴騰に暴騰を來し、遂に十月下旬十日間(大連)に亘る立會停止の余儀なきに至つたことは未だ耳新らしき問題である。

丁香廬漫筆(三十)

●●●●● 吉田茂大使

筆者本稿を起すのとき既に大使の現職を退かれて居るのであるが、依然大使の呼稱を用ゆる所以のものは斯く呼ぶことに依りて姑らく名殘を惜み最後の敬意を致さんが爲めである。

×

今の日本の外交官に何よりも大事で何よりも缺乏して居るものは闘志である。デイプロマシーは外交で差支ないとしてもデイプロマットは外交官では成らぬ、如何しても『外爭官』でなくてはなるまい若し外爭官では語弊があると云ふなら少くとも其面を『交』にし其心を『爭』にしたものであつて欲しいのである。處が情ないことには今日の我外交官は顔も心も誠に立派な外交官に成濟して居るが爲めに未曾有の外交不振を來して居るのである。此間に在つて我吉田大使は聰明でもあり機略にも長けて居るが何よりも滿滿たる闘志が今日の我外交界に得難きものであつた。外柔内剛外交官として頗る妙なるのみならず外爭官として一偉材と云へよう、其外務次官時代に此も不遇の一偉材である小幡酉吉氏が『吉田君は實に精悍じや』と云ふた相だが好漢好漢を識るで洵に適評と申すべきである。

×

陸奥伯も小村侯も爭ては居たが滿身闘志で燃えて居た、さればこそ陸奥伯が三國干渉で李鴻章に一杯喰はされた形に成つたとき蹇蹇録を著して鬱憤を洩し李翁が吐舌三寸我事成れりと私語して馬關を去つた等いふは嘘である、此の干渉は李歸國後三國の策動に依り成立したてのだと躍起となつて書いて居る。伊藤公が下關以來始めて北京に赴き李鴻章に會ふだときの出會頭の御挨拶は『貴國も北方にエライ氣强い外藩を得られて結構至極に存ずる』とやつたそうだ、老李の頭上に正に五寸釘を打込むの概がある、此は當座皮肉の苦言と見るべきでなく、三國干渉以來朝な夕な十年一劍を磨す底に考拔いて來た闘爭意識が再會の一刹那に匕首となつて閃めいたのである。以上の各外交家と今の我外交家とを比較しては聊か氣の毒であるがゼネヴァで貴重な一票を投じに行く我全權の後姿を見送つてゾーッとしたとか又伊エ紛爭が面倒に成つたとき「怎麼だゼネヴァでは君子面してエラそうなことを言ひながら今日お手前の遺口は」位の處で一矢酬いて可然と思ふのにアベコベに向ふから利用さるゝ樣な會議では餘りに闘志が無さ過ぎるではないか。

×

吉田氏が若年の安東領事時代に例の廿一ヶ條問題があつて本省から内々居留民引揚準備を電命して來た時『貴電諒承慌てるな』などと返電して時の外相を驚かしたり又後年張作霖等支那の跋扈を取つて押へ何とかして滿洲に於て失墜せる日本の威信を回復したいばつかりに餘り目出度からぬ奉天總領事の一役を買つて出て張作霖との最初の會見に貴樣がと云ふた調子で前任者などとは全然異なつた態度で臨んだことなど闘志滿々と云ふべく今時の外交官には桁はづれと云ふてよからう。若しあの時大連での東方會議の決議丈でも實行されたら多少の成功を收めて離任されたのであらうけれど矢張いかぬときにはいかぬものだ。闘志極めて强き結果が仇友の別甚だ明瞭或は明瞭過ぎると云ふ譏もあるが一面友情には非常に厚い例の盛京時報脅迫問題で日本が張から逆捩ぢを喰ひK主筆の處分を迫られたときKの處分をするなら先づ余を馘れ『余も亦同罪なり』と時の田中外相に打電して俠骨の稜々たる處を示したといふ美談もある。

×

自己宣傳は絶對禁物、新聞記者嫌で時々辛辣な皮肉を飛すから如何かすると誤解さるゝ傾がある、損な性分だが此が眞骨頭であらう。滿鐵總裁の松岡氏とは爾汝相呼ぶの間柄であるが其松岡評が赤振つて居る『松岡も神がかりの狀態で雲の上を歩いてるやうなものであつたが近來では次第に下界に降りて來て我々とやつと對等の口を利くやうになつた、それでも未だ稲荷さん位は憑いてるやうだ、今友人間で滿洲に追ひ遣る相談中だが松岡が滿洲に往けば日本に狂人が一人減る丈けでも結構なことである』マア斯んな調子である。

×

成敗の跡に因りて人を論じ度くはない。人間僅不運あり過不過だある、芳澤氏が結婚のとき犬養は芳澤と云ふ男は一體總領事位にでもなる男かと訊いたそうだが、總領事處か後年公使となり大使になり遂に大臣に迄成つた、運、鈍、根、三拍子と云ふもの揃ふと大變なこととなるものだ。さりとて其の昔犬養が甚しく不明の言を弄したとも云へまい。さらでだに寂寥を極むる我外交界の現役級から吉田大使の如き異色ある偉材を喪ふ事は何とも痛惜に勝えぬが今の我國狀では致方あるまい、四五年以來我外交は解消の形で言はゞ外交ホリデーである、此のホリデーの續く間は矢張り休養した方が賢明かも知れぬ邦家の爲め心身倶に健旺で捲土重來されんことを望む、是れ豈余一人の私情のみと言はんやである。

商況欄(十二月五日後場)

金銀市況

●上海標金 前引 二四五、六〇 本寄 二四五、五〇

●大連金鈔聯 寄付 一〇五、〇〇 引 一〇四、〇〇 高 一〇五、二五 安 一〇五、八五

▲十二月十三日限 出來高 二〇万 寄付 一〇五、二五 歩 [illegible]

十二月二十八日限 寄付 五、三五 …… 出 …… 不 來

引 一〇五、八五 高 一〇四、〇〇

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一六、七〇	一六、八〇
豆新	二一、七〇	二一、七〇
錢鈔	一四、八〇	—
東新	一七三、三〇	一七五、五〇
鐘新	一三四、四〇	一三五、八〇
滿鐵	五七、四〇	五七、五〇
二新	二四、六〇	二四、六〇
日産	七三、二〇	七五、二〇

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一八、五〇	一八、五〇
東新	一七一、一〇	一七四、五〇
鐘新	一五四、五〇	一五六、〇〇
日産	七二、七〇	七五、四〇
大新	一〇一、〇〇	一〇一、〇〇
五品	一六、七〇	一六、八〇
豆甲	二一、七〇	—
電乙	一六、六〇	一六、七〇
同鐵	一四、〇〇	一四、〇〇
滿拓	五八、〇〇	五八、二〇
東亞	一一、四〇	一〇、六〇
日興	三五、七〇	三五、八〇
滿毛	一七、五〇	一七、五〇
滿新	二三、四〇	二四、六〇
二優先	一七、五〇	一七、四〇

各地市況

▲橫濱生糸 前場引 後場寄

當限 八五一、〇〇 八五四、〇〇

先限 八六〇、〇〇 八五三、〇〇

●哈爾賓大豆

十二月限 一〇三五 —

一月限 九五五 —

二月限 九五七 —

出來高 —

●同 小麥

爲替相場

安 一〇二、八五 中

出來高 二〇〇万

現物 ●大連鈔票銀大洋 一〇三、〇〇

現物 ●奉天國幣金票 一〇〇、〇〇 一〇〇、〇〇

▲上海爲替

▲日本向 第一回賣買 一〇三、七五 第二回賣買 一〇四、二五

▲倫敦向 第一回賣買 一志二片三三分一五 第二回賣買 三三分一七

▲紐育向 第一回賣買 二九弗四分三 第二回賣買 一六分三三

大連爲替

▲上海向 九八、七〇 九八、四〇 九八、四五 九八、五〇 九八、六〇

出來高 一四萬

▲臺灣向 九九、九〇 九九、〇〇 九八、七〇

新京取引所市況(十二月五日後場)

現物(一石値段)

定期(混合百斤値段) 寄 引

先物 大豆 一五・九〇 三車

十二月限 四、六九 四、六九 五九車

一月限 四、六二 四、六五 三車

二月限 — —

三月限 — —

四月限 — —

高粱 高 八・八〇 一車

鈔票對金票 二十八日限

十三日限 圓 圓

寄 引 出來高 一〇五、三五 一〇五、三五 万 一万

神戶豆粕

限月	寄	引
十二月限	四、〇五	四、〇五
一月限	四、〇四	四、〇四
二月限	四、〇五	四、〇五
三月限	四、〇六	四、〇六
四月限	四、〇八	四、〇八

十二月限 一、五四〇〇 一月限 一、五五〇 二月限 一、五七五 出來高 —

手形交換(五日)

金票 一九九枚 一八四、六七四円八六

鈔票 二枚 二四、六九四四〇

國幣 五六枚 二六八、四三九四〇六

鮮魚小賣相場(五日)

品名	百匁ニ付 最高	最低
活タイ	一〇八	七二
氷タイ	四二	……
チヌタイ	……	……
連子鯛	三六	……
アマタイ	……	……
中小タイ	七三	五四
ブリ	三四	二八
カツオ	……	……
ヒラス	四一	三七
サワラ	三六	三一
サバ	二二	一八
アヂ	一六	一四
カレイ	一二	八
ヒラメ	一八	一三
ボラ	……	……
コチ	一〇	七
コノシロ	一九	一八
キス	二三	一六
イワシ	……	……
ムツ	……	……
アコウ	……	……
サヨリ	一二	一〇
マナカツオ	……	……
バレン	……	……
カナ頭	……	……
グチ	……	……
ホーボー	一六	一二
クヂラ	……	……
タコ	二〇	一九
水イタコ	……	……
イカ	六〇	三四
水イカ	三六	……
イセエビ	一二	……
エエビ	五八	……
アナゴ	三六	三七
中イ社	……	……
カニ	……	……
ナマコ	二五	一五
アワビ	六〇	四八
カキ	三五	三〇

殊動！尾高部隊の秋季討伐狀況

本期討伐に當り尾高部隊は濱谷、外山各本部隊より田路山内、島本、板津各部隊の增加配屬を得、討伐の重點を敦化南方地區に指向、主として松井討伐隊此方面を擔當し其他の方面に於ても各討伐隊競ひ起ち九月下旬頃より一齊に

行動

を開始し十月中旬頃迄には既に有力匪團及其根據地を討伐覆滅し爾後奧地要點に分散配置して殘匪の索出剿滅に努めた

此間討伐隊の最も苦しんだのは重疊せる山嶽千古の密林、膝を沒する大濕地等地形の險難と人煙稀れなる山間の僻地に宿るべき家もなく分散配置部隊などは迫り來る寒氣の設備も出來ず殊に奧地部隊への糧食物資の補給には並々ならぬ苦心を拂ひ輸送の爲め駄馬の斃死するもの百數十頭に達する有樣で其の辛苦、眞に言語に絶するものがあつた然し乍ら將兵の燃ゆるが如き討滅意識と堅忍不拔の努力とは遂に此困苦缺乏を克服し或は共匪史忠恒が

不落

の天險と恃んだ山寨を汪淸縣の密林中に覆し或は今迄皇軍の足跡を印したことなく恰かも匪賊王國の觀を呈してゐた馬參謀等反滿抗日匪の根據地を敦化南方の山中に潰滅し或は周太平大仁義匪を松花江上流方面に於て粉碎する等今や吉林、間島地區の匪團は四離滅裂殆んど集團匪の影を沒するに至り殘つた者も纔かに身を以て討伐隊の目を遁れ飢えと寒さに慄へながら山中を彷徨して居る狀態である

一方滿軍亦皇軍と極めて緊密なる連繫を保ち各地に於て目覺ましい活動を續け又討伐行動に附隨して行はれた滿洲國側治安工作隊の諸工作は縣長自ら先頭に立つて之に任ずる等從來嘗て見ない

熱度

を以て進められ其成果は蓋し特筆大書に値するものがある

今尾高部隊本期討伐の成果に關し其主要事項を數字的に擧ぐれば概要次の如くである

（九月上旬より十一月中旬迄）

交戰回數
交戰せし延匪數　一、一二五
敵の戰場遺棄死體　一一、四四二
捕虜　一、一七八
歸順匪　一〇一
逮捕檢擧せし匪數　一、九二七
射殺逮捕及歸順せし匪首　二二
鹵獲又は押收せる小銃　四四
七九五（彈藥五〇、四二九）
鹵獲又は押收さる拳銃
四〇九（彈藥一一、八五九）
人質奪還　一一五

而して當地區內匪首中の大物と目されてゐた亞東洋を殪し馬參謀を捕獲したるが如きは正に本期討伐の大收穫と謂はねばならぬ

之に對し我軍の拂つた貴重な犧牲は將校以下戰死五十一名負傷五十九名の多きに達し事變當時にも劣らない激戰が隨所に行はれた事を物語つてゐる、殊に九月二十九日伊藤〇隊の松花江岸の戰鬪、十月中旬楡樹、德惠縣方面の梅鉢及淸田〇隊の

戰鬪

十一月五日額穆索附近の中村〇隊の戰鬪の如きは寡兵克く十數倍の敵に對し決死的攻擊を敢行し各部隊共隊長盡く之に死する等壯烈鬼神を泣かしむるものがある

由來吉林及間島兩省內の山地密林地帶は兇暴なる共匪及反滿抗日匪の巢窟と稱せられ之が根本的治安の肅正は盡く至難の業と思はれてゐたのであるが今次の大討伐に於て始めて此地方の隅々にまでも輝かしい建國の榮光が照り渡つたと見るべきである

北滿

着用シューバーすら毛皮を切取らる
ソ聯在住民國商人壓迫され歸國者最近激增す

【滿洲里國通】ソ聯官憲の個人營業者に對する徹底的壓迫の結果多年ソ聯邦内に於て小營業に從事してゐた民國人で入滿若くは通過歸國する者が最近漸增しつゝあるが、之等民國人は殆んど總て所持金を有せず、ルーブル、貴金屬並に證明なき外國貨幣は出境に際し沒收されるのみならず、唯一の財產たる着用シューバーすら毛皮を切取られる等僅かに手廻り品二、三個を持ち到着して居り、着用シューバーを賣拂ひ旅を續け得る極く少數の者を除き大部分は公私の援助を受け在哈の知人を尋ね或は歸國しつゝある現狀である

赤徒兇手を振ふ

苦力引揚ぐ
濱綏線では輸送列車を運行

【ハルビン國通】北鐵接收からゲージ變更と引續き北滿土建界の盛況につれ北滿へと雪崩れこんだ苦力軍は今春解氷以來三萬を突破したが昨今の結氷期に之等苦力の引揚げは俄かに激增し濱綏線の三等乘客は超滿員の狀態である、哈鐵當局では此大量苦力群輸送の緩和を圖るべく濱綏線に苦力輸送列車を仕立て十二月中旬より舊正前後まで繼續的にこれが定時運行を行ふべく目下立案中であるが、これにより一般乘客に多大の便宜を齎らす事とならう

小林、向後兩勇士の碑竣工擧行

【ハルビン國通】ハルビン郊外王兆屯に建立中の小林、向後兩勇士の碑は曩に納骨式を終り此程漸く竣工したので愈々五日午前十一時より在哈日滿各機關代表參列して同碑前に於て嚴肅なる除幕式を行つた

龍江省縣下疑似ペスト百七名に達す

【チチハル國通】三日迄の龍江省管内各縣下疑似ペスト發生數は克山卅七名、依安十九名、通化十名、龍鎭十四名、德都八名、克東十二名、富裕七名、合計百七名で、なほも猖獗の徴候あり、目下現地で調査中の龍江省千葉技正並に新京民政部調査班の歸來を俟つて更に當地で關係機關參集第二回防疫委員會が開かれるものとみられる

思想對戰の勝利
歸順者百名に達す

【吉林國通】協和會の標榜する思想對戰匪賊歸順工作は十一月末迄に第二十五次工作を終り、その間匪首東邊好以下五名の自發的歸順、西山好の部下七名の說得歸順など計廿一名の歸順者を加へ、之等歸順匪は歸農或は商業に從事、協和會の庇護の下に父母妻子を呼び寄せて王道の恩惠に浴しつゝ正道を步ましめる旨磐石辨事處より報告があつたが總計百に垂んとする歸順者を見た事は思想對戰の成功と、それにより內部的崩潰の一途を辿る群小匪團の末期を思はしめる好個の報告である

吉林市聯合協議會
第一日開催

【吉林國通】今秋機構の改組を斷行して本格的諸工作に乘出した協和會では十一月一日撫順を皮切りに全滿的に縣市聯合會を開催各關係方面より多大の興味と關心を以て見られてゐるが吉林省事務局管下に於る第一次吉林市聯合協議會は十二月四、五兩日市內省立女子兩級中學校大禮堂に於て開催された

出席者は代表者として宋律師分會長以下四十名並に協和會側各員、來賓として李省長以下各關係首腦部多數出席、第一日目は正午前九時振鈴と共に開會、直ちに御眞影に向つて三鞠躬の禮を行ひ國歌を合唱、型の如く訓詞、敎詞等ありて會務現況の報告に次ぎ正副議長を推薦、それより市政、警察行政方針等の說明、省事務局諮問事項の提案ありたる後一同記念撮影をなして午後四時散會した

其の間本社電報により日本皇室に於て今回御誕生あらせられた新皇子殿下御命名の御儀が傳へられるや緊急動議として一同起立「日本皇室萬歲」を三唱して友邦日本帝國皇室の御繁榮を祝福し、議場內は俄然和やかな雰圍氣となり議事は一瀉千里に進行した

南滿

在滿ドイツ人が新營業稅課稅の免除請願
成行重大視さる！

【奉天國通】本年七月實施された新營業稅は滿洲國人は勿論治外法權を有せざる外人に對しても一律に課稅され近く徴稅が開始されるが、治外法權を有せざる外國營業者の中最も多いのはソ聯人でドイツ人がこれに亞いで居る、ソ聯人は現在の國情よりこれに對し何等の措置に出でず默認、ドイツ人のみは治外法權設定當時はドイツ國情上已むを得なかつたが現在のドイツは世界列强の間に伍して對等の地位を保持して居りドイツのみが治外法權なき故を以て課稅されるは心外なりとして滿洲當局に之れが免除方を請願すると共に先般來奉した經濟使節にもその事由を說明、斡旋方を依頼したが、滿獨經濟提携氣運濃厚な折柄注目されて居る

滿鐵のナス
廿日迄に入る

【奉天發】慌しい師走の聲と共にサラリーマンの腦裡には嬉しいボーナス袋が去來してとらぬ狸の皮算用に忙しい、事變以來膨脹の一途を辿るに伴ひ滿鐵マンの來奉者も現在約三千の社員居住者を見てゐる、過般退職制度の改革の報が傳はつた際など奉天驛の現業方面を始め地方事務所、鐵道事務所等は相當動搖の色を見せたものであるが誤報と判つてほつと胸を撫でおろし、昨今はボーナスの訪れを控へて再び前と違つた微笑ましい朗顏曲をそちこちに沸立たせてゐる、本年度滿鐵のボーナスは昨年と大差なく大體日給者が十割から十二、三割、月俸者が廿四、五割から三十五六割程度と見られて居り、支給も日給者が十五、六日、主任級でも二十日頃には手に入る筈で、ここのところ今更の如く大滿鐵謳歌の聲の中に社員は掉尾の働き振りに活氣を見せてゐる年々歲々見る歲末ボーナス風景

東滿

實業部の修正要求に魚菜市場案行惱む
市政籌備處解決策に腐心

【吉林支局發】昨年春以來の懸案にて彌來幾度かの會合を重ねて生みの惱みを續けてゐた當地の魚菜市場問題は中央卸賣市場法に基く市政籌備處の經營なく場外取引を許容する建前の中に漸く成案を得て實業部に申請し、其儘認可の下るものと期待して居たが、最近に至り同部より原案の修正を求め來つたので、實業廳の豐島技佐は之れが善後策に腐心中であるが、今回市政籌備處で立てた案は小賣市場は除外し卸賣市場の爲めに同處より土地建物（評價額十二萬圓）を提供して市の經營とし別に民間側より日滿合辦の下に七萬五千圓を出資させて經營を代行させようとしたものであつたが、實業部では資本金を二十萬乃至三十萬圓に增額せる强固なる會社の組織を希望してゐるのであり、民間資力並に消費力の關係上この增資案の實現には相當困難の伴ふことを免かれぬのであるが、實業廳と市政籌備處とで今後更に一、二回の折衝を重ねて適當なる解決點を見出したいものと協議を重ねて居り或は年內に何とか目鼻が附くかも知れぬ模樣である

吉邦人數異動

【吉林支局發】居留民會の調査に係る十一月末現在の當地在留邦人數は九千百八十一名になつてゐる、十一月中に於ける異動は新居住者三百五十一名、退去者二百十六名で差引き百三十五名の增加であるが、此期間に於て退去者が例月より激增してゐるのは土建界の終末期に入り斯業者の引揚げが多かつた爲めである

商業登記

○商號新設
一商號　ブラジルコーヒー新京營業所
一營業ノ種類　ブラジルコーヒー販賣
一營業所　新京東一條通三十四番地
一商號使用者ノ氏名住所　中島孝次郎　新京東一條通三十四番地

○合資會社昭和工務所本店移轉
一昭和十年十一月三日當館管內ニ本店ヲ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲シタリ
一商號　合資會社昭和工務所
一本店　新京中央通三十九番地
一目的　土木建設請負及設計監督並ニ建築材料ノ賣買及之ニ附帶スル業務
一設立年月日　昭和六年三月十四日
一代表社員ノ氏名　臼井忠三
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金二十參萬圓　無限　臼井忠三　新京中央通三十九番地
金五萬圓　有限　臼井光治　關東州老虎灘會老虎灘番外十二番地
金一萬圓　有限　丸山清四郎　新京富士町六丁目二番地
金一萬圓　有限　中洲伊三郎　奉天若松町六番地
一存立ノ時期　定款作成ノ日ヨリ滿拾箇年
右昭和十年十一月十二日登記

○東洋拓殖株式會社社債發行（支店）
一第百二十五回
社債ノ總額　金五萬圓
各社債ノ金額　一千圓
社債ノ利率　年三分八厘
社債償還ノ方法及期限　昭和十五年八月一日迄据置キ以後每年二回二月一日八月一日ニ每回元金一千圓以上ヲ償還シ昭和三十年八月一日迄ニ金額ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高ガ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還スルモノトス
各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
右昭和十年十一月十四日登記

○滿洲電信電話株式會社變更
一昭和十年十一月四日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
新京特別市大同大街六〇一號
一左記取締役ハ昭和十年十一月四日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
山內靜夫　新京特別市西萬壽大街二〇五
三多同　市雲鶴街三〇一
井上乙彥同　市建國路五〇六
前田直造同　市東朝陽胡同四〇六
西田猪之輔　大連市柳町三番地
一左記監査役ハ前仝日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
西山左內　新京特別市建和街一一八
范培忠仝　市雲鶴街三〇三
右昭和十年十一月十五日登記

○株式會社設立
一商號　新京共同木材株式會社
一本店　新京中央通十三番地
一目的　木材ノ生產並ニ賣買及之ニ附帶スル一切ノ事業
一設立年月日　昭和十年十一月九日
一資本ノ總額　金五十萬圓
一壹株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法　新京日日新聞紙上
一取締役ノ氏名住所
佐藤精一　新京高砂町二丁目四番地
沼田彌一郎　新京入船町一丁目一番地
岩間甲斐之助　新京北二條通
高橋管藏　新京特別市建和街二〇八號
花村正己　新京曙町二丁目十六番地
片桐菊治　新京入船町二丁目十五番地
彼末德雄　新京梅ヶ枝町四丁目二十八番地
牛越伊助　新京尾上町七丁目四番地
吳石權一　新京住吉町九丁目二番地
一監査役ノ氏名住所
藤井佳三郎　新京朝日通五十九番地
軍國儀一　新京曙町二丁目四十八番地
會社ヲ代表スベキ取締役　沼田彌一郎、岩間甲斐之助、高橋管藏、彼末德雄
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ十箇年

○合資會社設立
一商號　合資會社公主嶺特產商會
一本店　公主嶺市場町三丁目五番地
一目的　特產物貿易及之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十年十一月十八日
一代表社員ノ氏名　權榮達
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
伊通縣萬福德屯大風山農場所在土地商租權八十天地
此標價格金一萬圓　無限　權榮達　公主嶺市場町三丁目五番地
伊通縣達子營達子營農場所在土地商租權三十天地
此價額金五千圓　無限　金英哉　同上
懷德縣四家子四家子農場所在土地商租權三十天地
此標價格金五千圓　無限　朴重步　公主嶺東雲町一丁目
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ十箇年

○三菱商事株式會社變更（支店）
一取締役三島清一ノ氏名ヲ左ノ如ク更正ス
三嶋淸一
一取締役柳瀨篤二郎ノ住所ヲ東京市世田谷區玉川田園調布二丁目七百二十番地ノ二ト更正ス
右昭和十年十一月十九日登記

○昭和酒類釀造合資會社變更
一昭和十年十一月二十日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
新京富士町四丁目十二番地

○支配人解任
一昭和十年十一月十九日大島已之助ハ支配人西岡喜藏ヲ解任ス

○支配人選任
一支配人ノ氏名住所
中村吉右衞門　新京日本橋通五十番地
一主人ノ氏名住所
大島已之助　新京中央通二十七番地
一支配人ヲ置キタル場所
新京中央通二十七番地
右昭和十年十一月二十日登記

●合資會社設立
一商號　合資會社パリジャン洋裝店
一本店　新京祝町三丁目十七番地
一目的　洋服業
一設立年月日　昭和十年十一月十日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
勞務　無限　桐村茂男　新京祝町三丁目十七番地
金三千圓　有限　桐村美枝　同上
金三千圓　有限　桐村武男　京都府天田郡庵我村字猪崎
一存立ノ時期　定款作成ノ日ヨリ滿拾箇年
右昭和十年十一月二十一日登記

○合資會社大東公司變更
一昭和十年十一月二十二日天津日本租界浪速街參十六號地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
天津日本租界春日街十八號地

○東洋拓殖株式會社更正（支店）
一昭和十年五月二十七日登記シタル監事小椋長吾ノ就任年月日ヲ昭和十年五月二十二日ト更正ス

●合名會社小泉商店變更（支店）
一社員小泉和英ハ昭和十年十月十二日死亡ス
社員小泉光次郎、小泉高男ハ前同日更ニ各金一千圓ヲ出資シテ其出資額ヲ左ノ通變更ス
金參千圓　小泉光次郎
金參千圓　小泉高男
右昭和十年十一月二十六日登記

○三菱商事株式會社變更（支店）
一昭和十年十一月十八日英領印度孟買、フォート、ホーンビイロード、ラベリンストリート六番ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
英領印度孟買、フォート、チアーチゲートストリート

○株式會社大豪公司變更
一昭和十年十一月十五日監査役荒井彥宗ハ其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市麴町區下六番町三番地
右昭和十年十一月二十七日登記

○合名會社設立
一商號　合名會社關名ビル
一本店　新京特別市安達街五一〇號
一目的　貸店舖並ニ貸家業
一設立年月日　昭和十年十一月十五日
一代表社員ノ氏名　加藤庄五郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金一萬圓　加藤庄五郎　新京特別市安達街五一〇號
金一萬圓　長崎太七　瓦房店昌鳳達街十番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十年十一月二十九日登記

在新京 日本帝國總領事館

家庭

客間の御作法
――家庭講座(赤塚久子・記)――

客間の御作法を申上げませう

A、主人側

一、御客間は何時來客がありましてもあはてないです む樣によく御掃除をしてテーブルにタバコセット御座蒲團火鉢をキチンと取揃へておきませう

一、御客樣に座蒲團をおすすめする場合は必ず上座からつまり客を上座へ請ずるためです

一、御寒い時には何よりまず煖房に氣をつけませう

一、あたたかい御飲みものを御すすめします

一、御菓子は本來は御茶の前に出すものですがしかし只今はさう形に捉はれず御茶がさきで御菓子があとになつても差支へ御座いません

一、菓子は菓子器に盛りても又銘々皿にとりわけてすすめてもよろしいのです

一、來客の前で度々時計をふり仰いだり時間を氣にしたりしては失禮です

B、客の側

一、贈りもの等持參いたした場合は客間に入りましたら直にとり出しはつきり詞をのべて差出します名刺代りや一寸した手土産でしたら歸りがけとか或は玄關で取次の方にさし出してもよろしいので御座います

一、御茶やコーヒー其の他のあたたかい御飲みものをすすめられた時はむやみに遠慮せずさめない中にいただきます

一、話題に注意すること

一、あまり長居をして先方に迷惑をかけない事

話の種

明年の皆日食にソ聯準備

明年六月十六日の日食はソヴイエト聯邦に於て最もよく觀測し得る事になつて居るので目下ソヴイエト天文學界はモスクワを中心としてその下準備に忙殺され科學アカデミー特別委員會は聯邦內に十五ケ所の觀測地點を選定し之等に種々の觀測設備を施すことに決した

來るべき日食に付ては又既に英國始め各國から觀測參加の申込みが相次いで居る有樣である、科學を誇るソヴイエト聯邦明年の皆日食觀測並にその結果報告は蓋し世界學界の偉大な收穫とならう

牛乳防腐法發明

牛乳の腐敗はどこの家庭をも惱ます問題だが最近ドイツ、デュイスブルグの化學者テオドール・ホフイウス氏は牛乳の殆んど完全な防腐法を發明した

その方法の要領は先づ搾つた牛乳からガスを脫取しこれを鑄止めのしてある容器に入れる次にこれに酸素をボンプで注入し十氣壓になつたらこれを攝氏十度の溫度に保つといふのだがこの方法に依れば牛乳は五、六週間は搾り立ての新鮮さを保つことが出來るといふハムブルグの州立衞生試驗所でこの操作を用ひて牛乳百五十リツトル、バタミルク六十リツトル、クリーム二十リツトルに付いて實驗した所その結果は非常な成功で三週間の後にもこれらは何れも新鮮、味は少しも變らなかつた

發明者のホフイウス氏はこの方法を用ふれば約二ケ月間は保障出來ると言つてゐるがドイツの各新聞は膵を揃へて「來年の夏には我々はもう酸つぱい牛乳を飮まないで濟む」と賞讃してゐる

水不足にダニューブ河干上る

國際河川として歐洲各國に交通の便を與へてゐたドナウ河も遂に涸渴してしまつた、當地に於る殺人的暑さのため人畜は干上つて一面の酷熱地獄を現出した、毎日暑いのは何もエチオピアばかりとは限らない、平均溫度は每日九十五度の高さを示してゐる、ダニューブ、サヴア兩河の接續點として知られ昔から傳統と雅しいベルグラードの淵も今は全く見る影もない、夏は涼を訪ねる人々に憩ひの場所として、又靜かなよどみを見せてゐたが、今では魚の棲む餘地もない位だ、廣い川は石だらけの荒野となつて處々に見える淺瀨は女子供が涉つてゐる始末だ、川とは名ばかりで砂の上にはイモリならぬ赤腹を見せた船が岸に寢そべつてゐる、ベルグラード、ウシナ間の航行等は大昔の夢となり果てた

これから多くなる小兒の「せむし」病
素人目には仲々判らぬが お母さんの注意が大切

小兒の完全な發育或は健康增進に就いて最も注意を要するのは佝僂病です、此の佝僂病とはどんな病氣かと云ひますと、小兒に見る一種の發育障害で、その著しい變化は骨格に來るのですが、同時に顏色は蒼白となり、貧血を起し齒牙の發生がおくれます。

かういふ兒は外界の刺戟に對する抵抗力が弱いため、よく氣管支カタルや胃腸の疾患に目かされ易く常に病氣になりがちで、大腦の發育が不完全なために遲鈍になり、元氣がなく又不活潑になります。一般の人は佝僂病と云ふとすぐ手足または脊髓骨の

……◇畸形を

想像しますが、實際これは病氣が最もひどくなつた時のことで、かうなるまでの程度のものが一番多いのです要するに「レントゲン」檢査で初めて分る程度のものが著しいのですから母さん達はよほどの注意が必要です、この病氣にかかる年令は一才未滿の乳兒から、二才、三才頃が最も多く、それからだんだん減つて十才以上は少くなつて居ります。先づ佝僂病發生の時期を患者について調べて見ますと、佝僂病にかかるのは冬が最も多く、次が秋でそれから春、夏になつて

……◇醫者の

所へ行く事になります、その大多數の親達は「これは佝僂病だ」と云つても承知しません、此の病氣の原因は、今日色々な學說があつて歸一しませんが、獨乙のフルチンスキー氏は紫外線と佝僂病とが密接な關係のある事を發表して居ります。この紫外線が生物即ち動植物の生存上欠くことの出來ないもので、日光々線の作用殊に、其の中の紫外線の作用と小兒の發育といふ事が密接な關係があつて離すべからざるものです。都會生活者はとかく此の紫外線の惠みをうけることが少いので

……◇都會に

住んで居る人々はわが兒がこの病氣にかからぬ豫防として紫外線を十分浴びさせるやう天氣のよい時は戶外へ出て暖かい日に薄着をさせ此の光線に浴し理想的の身體を作る樣にしたいものです

お料理獻立

白菜チム(白菜葉包)

【材料】(五人前)

白菜　五株(これは白菜の小さい株を用ひ外側の軟かい蕊の葉十枚位ついたものを丸のまま用ひます。)

牛肉　上肉五十匁、肉のお藥味として、白ゴマの炒つて半摺りとした品、中匙一杯、刻み葱少々、胡椒少々醬油中匙一杯、椎茸五ケ、卵一ケ、葛粉大匙三杯、瓢少々、かつを煮出汁二合味淋一勺、醬油大匙二杯、食鹽、調味料少々づつ

白菜の蕊十枚ばかりの葉を丸ごと蒸し、別に生肉のみじん切に藥味を合せ卵、葛粉、椎茸のせん切を合せ白菜の葉の間に肉をはさみ別のお鍋に味をととのへた汁で煮こみ終りに醬油と水どきの葛とを加へます

…◇…暮氣分みかんの山

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局)六日(金曜)

親王殿下御誕生記念(第三日)

◎……◎ 朝 ◎……◎

六、三〇　建國體操(滿語)

六、五一　ラヂオ體操(東京)

七、一〇　入港船の御知らせ(大連)

氣象通報

七、一五　初等滿語講座(奉天)講師　秩父固太郞

七、四〇　初等日語講座(奉天)講師　近藤喜助

八、一〇　朝の音樂(大連)

八、三〇　經濟市況(東京)

九、〇〇　早晨演奏

九、二〇　料理獻立(奉天)

家事講習所　奧野倭文子發表

一、茶碗蒸し

二、湯ぶり海

九、四〇　經濟市況(大連)

一〇、〇〇　家庭講座　萬葉の冬のうた　赤塚久子

一〇、二五　家庭メモ

一〇、三五　經濟市況(大連)

一〇、四〇　經濟市況(東京)

一〇、五九　時報(東京)

一一、四〇　ニュース(東京引續き新京)

◎……◎ 晝 ◎……◎

〇、〇一　經濟市況(大連引續き新京)

〇、二〇　晝の演藝(レコード)

長唄　鶴龜

唄　芳村伊十郞

三味線　杵屋榮藏

上調子　杵屋榮次郞

笛　住田多藏

小鼓　望月太左衛門

大鼓　望月太七

太鼓　福原鶴太郞

〇、四〇　建國體操(滿語)

一、〇〇　白天演藝(哈爾濱)

淸唱　法門寺

唱　朱榮久

胡琴　傳君祥

月琴　夏本祿

鼓　鄕

一、二〇　ニュース(滿語)

二、〇〇　經濟市況(大連)

引續き　日用品値段(滿語)

二、二〇　成人講座(滿語)

關於華北自治(四)　大同報社記者　唐新我

二、四〇　下午演奏

二、五〇　經濟市況(東京)

三、〇〇　ニュース(東京)

三、三〇　經濟市況(大連引續き新京)

三、五〇　ニュース(鮮語)

四、三〇　ニュース(鮮語)

引續き　演藝(鮮語)

四、五〇　ニュース(英語)

五、〇〇　子供の時間(大連)

お話と唱歌　大連嶺前小學校兒童

一、お話　お祝の言葉　二年男子　櫻井和人

二、唱歌

(イ)躍進日本　六年女子　太田ケイ子

(ロ)南滿本線　六年女子

三、唱歌　四年女子

(イ)日本帝國

(ロ)空の握手

五、二〇　コドモの新聞(東京)

五、二五　氣象通報・番組豫告　關屋五十二

◎……◎ 夜 ◎……◎

六、〇〇　ニュース(東京)

六、二〇　今晚の番組・官廳公示

六、二五　政府公報(滿語)

六、三〇　奉祝講演(東京)

皇室の御榮と國運の隆昌　衆議院議長　濱田國松

六、五〇　全國奉祝俚謠大會

(福岡)幸若舞(日本紀)

(廣島)獅子舞

(一)能の獅子舞

(二)祭禮獅子舞

(京都)維新雷樂　京都府北桑田郡山國村山國隊

(一)集合

隊長　山室忠次郞

(二)禮式　指揮　水口正

(三)行軍

(名古屋)七福神　愛知縣寶飯郡蒲郡町東府集有志

(仙臺)

(一)三太時雨

(二)山形松坂節

(三)大津繪

(札幌)正調江差追分

七、五〇　舞臺劇(東京)

春日局　福地櫻痴・作

お福　中村歌右衛門

稻葉佐渡守　片岡我童

囃子　杵屋榮藏社中外

八、三〇　時報・ニュース(東京)

引續き　ニュース

八、四五　ニュース・經濟市況

氣象通報・番組豫告(滿語)

九、〇〇　舊劇(哈爾濱)

胡迪罵閻　唱　毛樹奎

李處鈞

于天輔

于恒濱

場面　外五名

一〇、〇〇　北滿の時間(露語)(哈爾濱)

歌右衛門の十八番物
舞臺劇「春日局」
午後七時五〇分　東京より

―配　役―

稻葉の內室お福の方　中村歌右衛門

板倉伊賀守勝重　坂東村右衛門

代官角倉與市　市川七百藏

稻葉惣領千熊　坂東又太郞

同二男七之丞　片岡大輔

同三男內記　中村兒太郞

同家來林仲作　片岡我久三郞

同塚田杢兵衛　中村成彌

同田邊新左衛門　坂東錄三郞

同庄屋九郞兵衛　中村若松

稻葉佐渡守正成　片岡我童

囃子連中　杵屋榮藏社中

場景……山科稻葉閑居の場

福地櫻痴が所謂活歷の主張を具體化し、史實によつて考證の正確を期し、我が歌舞伎劇を史劇らしきものへ一歩踏入れしめた最初の作である。明治二十四年六月歌舞伎座に上演された。歌右衛門の十八番物として、明治四十三年に所演して以來その氣品、藝格は世人に絕讚されてゐる。然も今回放送する場面は春日局が見出されて忠義を盡しに上るといふ、慶祝にふさはしいものである。

◇……◇

もと小早川家の老職であつた稻葉佐渡守は、今は洛外山科に居を定めて閑日月を送つてゐた。そこへ訪れたのは思ひもかけない板倉伊賀守である德川家康が明智の一族齋藤內藏之助の息女と知りつゝも、稻葉佐渡守の內室お福の方を才智あり、德操も兼備した女丈夫と見拔いて嫡孫竹千代君のお守役に懇望したいといふので、その使者に來たと語りつた。佐渡守も懇望もだし難く、許したので、お福の方は禮を厚うして承諾を賴むのだ意を決して、我子を夫に托して、單身江戶に上ることになつた。

文藝

二つの詩誌
―鵠と北晉詩信讀後―
近東綺十郎

大連から二つの詩の雜誌を貰つた。一つは定期刊の〃鵠〃一つは不定期刊の〃北晉詩信〃で兩方共、同人組織と言ふことになつてゐる。甚だ無雜な讀後感を書いてお禮に代へたいと思ふ。

◇

先づ〃鵠〃には東京から百田宗治氏と北川多彥氏の通信を寄せてゐるのが珍らしい。

更に眼を惹いたのは多彥氏の〃不滿〃と稱する短文である。これは鵠に對する不滿を通じて滿洲詩壇(恐らく文藝一般にそう言ひたいのであらう)に對する要望が述べられてゐる。

それは『豐饒たる滿洲の地のこゑを聞けない殘念さ』である。之を氏は(滿洲の地はこんなに無氣力なのですか、(略)浮き上つた文字だけが見え、滿洲の土地の匂ひも響きも生活も、讀みとれないのです)と表現してゐる。

今更繰返すまでもなく氏は滿洲が生んだ中央の進歩的詩人である。滿洲を理解し情勢を審さに知つてゐる先輩の言葉である。之は大いに考へなければならぬ滿洲詩人の一つの問題であると思ふ。

◇

作品そのものについて愚感をのべて見たい。

八木橋雄次郎氏の三篇に就て感じたことは、氣魄の稀薄であつた。その中(貧困歌)の第三聯に最も氏の息使ひを感じたが、(紙)の

やがて湖はそこから凍り
始めて白鳥はそのまゝの
姿で氷塊となつた

の二行にしても最初の美しさで孕らんだ期待が次の行の說明的表白で無慚にも萎んでしまふのだ。その最後の行とか、(貧困歌)中の〃鎖の端で〃〃現實のねぎ〃〃窓を病木が覗いてゐる〃とか(年齡)の〃黃色な血を吐いて卵は碎けた〃などの形容詩の扱ひ方は何だか生な繪の具と同じい、そこだけ美感を損はれるような一種の惡感を受取つたのは僕一人であらうか。作者と詩材が渾合せず、別々に油水的對立をしてゐるやうで、之は詩精神の不完全燃燒による作品ではあるまいかとさへ思はれた。

小池亮夫氏の作品は失禮する。三好弘光氏のも同樣。

瀧口武士氏の(秋)は氏のいつもの本領乍ら矢張り美しく讀んでゐて快適であつた。〃雨が臉を溢れおちてきた〃とか〃あたりは花が咲いてゐた〃とすら〳〵言つてのけて何の不自然さもぎこちなさも感じさせず、溢るゝやうな感情を湧かしてくれるのは、僕など言爲するまでもなく流石である。

井上麟二氏が長い詩を發表してゐる、(無題)は一つの惡魔的な外裝を飾つてゐる。

厭世と絕望と頹廢と惡罵と……例へば雜踏する支那人街の食傷小路の中に入つたようである。不健康と陰慘と慘忍が次から次へと重ねられてゐる。然し此の堆積した言葉、言葉、言葉……僕は井上氏はもつと健康な思想の所有者であつたのではないかと思ひ、ふいと自分の記憶を振り返つて見た。

◇

〃北晉詩信〃は島崎恭爾君と城小碓君が仲よく二人で書いてゐる。

島崎君の作品には何年振りかの見參である。しかも君は非常に氣の弱い性格を持つてゐる人、城君の大陸的な風格と好い對象をなしてゐる。

島崎君の詩三篇は然し乍ら三年近くの沈默の後としては實に氣の毒であるが苦言を呈せざるを得ないのは、友人として非常に心苦しいが仕方がない。

島崎君の今度の作品は我執に充ちてゐる。そこにはすべての客觀性が死んでしまつてゐる。島崎君の人生的な生活的な追ひつめられるような苦惱と傷心が眼に見えるようである。詩を樂しむ心の余裕はなく、詩に引きずられてゐる。敢て卒直の感情を披瀝して島崎君の一顧を得たい。城君の(花莚)は冒頭よりも中節、中節よりもラストに魅力を感じさせるところに君の苦心も見え、詩の法悅に浸り切り得る人の姿が好ましく、君の作らしいニュアンスも豐富で一作毎に向上して行く君の詩歷を想ふて愉快であつた。

◇

繪を見てゐないで變だが、城君の五果會展雜記も面白かつた。

以上で大體(無禮な感想)を終るのだが、大連にしろ新京にしろ、文藝愛好家も增えその情勢も漸次向上して行くのを見るのは愉快である。寂しいのは安達義信君の作品にお目にかゝれぬことであるが安達君自身の感情が文學に熱意を失つてしまつての上であれば遺憾乍ら是非もあるまいと思つてゐる。

その代り一時詩作を斷つてゐた島崎君が再び詩作を始めるのは嬉しいことであるし、希くば大きな足跡を殘すべく精進されんことを祈るものである

(完)

あい
淀野家

はんらんした　あいは
ふゞきに　さらし
こほりし　まゝを
ちんぢんにくだき
きみの　ちぶさを
それで　みがくを

風

風は　そうろうとして
生れくる　匂ひである
さわやかに　草に愛され
木々にまつはり
石を　うるほす流れである
風は　うつくしいこゝろで
ある
ひとしれずうまれて
きゆる　なさけである

秋

風の　うらさびれて
あをざめし涙をしる

文藝手帖

▽佐和山一郎君らが最近「詩集」を出すさうだ、「君らが知らん人を紹介してやる」と言つてゐるから期待してゐる、高木氏の詩集に次いで、今年の地元文藝界に贈られる唯一のお歲暮であらう、寂しい氣がする

▽ラヂオドラマの放送も年內にもう一回やりたいと思つてゐたが、皆んなが忙しくなつてとても出來さうにない、年が改まつたらまた新しい元氣で勉强を續けやう

▼持病の齒痛がまた起つた、思ふに近東君の齒痛が誘發させたものらしい、大內君も胃腸を壞して元氣を失つてゐる、三人が申し合せたやうに故障を起してゐるが、へこたれてはゐないから、正月でも來たら治るであらう(和田)

今月の川柳

金策の身に泌みる風十二月
十二月無盡の欲しい顏ばかり
非常線還つた罪で補われる
大掃除羽子板が出て羽根が要り
ボーナスのあとへお眼玉少し喰ひ
ボーナスを出ないと知れた周章てやう
ボーナスに差引多し苦笑ひ
慈善鍋思ひ切つたが五錢入れ
福引を去年當つた子に引かせ
一等の簞笥まだある福引所
押合つて買はずに戻る歲の市
引越を暮は夜逃に數えられ
暮の街落してならぬ金を持ち
餅つきを代つてもよい懷手
掛取はお世辭を云つて棒を引き
不孝者どこで聞くのか除夜の鐘

新書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△月刊滿洲(十一月號) 秋月光夫「北支工作と我が陣容」を何よりも先きに讀んだ、誰しも讀んで置いていい記述を含んでゐる、谷萩少佐の「支那四川の剿赤戰線で拾ふ」は達文、匝葉生「滿洲事變秘錄、夢の跡」も語る人、語られる人躍如としてゐる、石原巖徹「國線ちくと一杯記」淺野虎三郎「文筆生活三十年」「第一線の兵隊さんと月刊滿洲」伊藤武雄「北滿の現狀と其の開發」其他(撫順東八條通四七、月刊滿洲社、三十錢)

△滿蒙(十一月號) 大塚令三「瞿秋白の革命的生涯」は資料として記憶していい、夕陽明滅亂山中の一句、文人革命家の生涯のピリオッドを示してゐる森次勳「舊支那家族制度のアジア的意義に就て」大高巖「支那新文學運動の展望」方元之「支那に於ける零細農民」野田光藏「札幌より渤海黃海への旅」島田貞彥「滿蒙考古栞」松村壽軒「支那の俚諺」淺原龍雄「濱綏線經濟風土記」山下藤次郎「古音探究と日本語源」馬島漾子「北滿の旅」等(大連市紀伊町九一、滿洲文化協會、一圓)

△滿洲映畫旬報(第二號) 表紙に明星影片公司の嚴月、卷頭言「念願と待望」その外、大內隆雄「プドーフキンそしてリアリズム」國立映畫製作所愈々出現か全滿配給統制策謀、支那映畫界ニュース等(新京祝町三ノ七、滿洲映畫旬報社、二錢)

△日本海商業委員會資料第一輯 日滿最短徑路と日本海に就てを收め諸表附錄あり(東京市麴町區丸の內三ノ一四日滿實業協會、非賣品)

ばい風會例會

一、日時　十二月七日(土)午後七時
一、會場　曙町四丁目十四ノ三、南方
一、兼題　冬日影、白菜　通五句

新年文藝懸賞募集

かねてより滿洲國文化機關として王道文化の藝術運動に努力しつゝある本社では、輝かしい昭和十一年(康德三年)の新春を迎ふるに當り、この意義ある門出を祝し、本紙新年元旦號を飾るため、左の項目に分つて愛讀者より淸新の意力に溢れた文藝を募集することになりました。冀くば、新らしき年を迎ふる諸兄姉の自信に充ちた作品を殺到させられんことを!

募集規定

A 種目(賞金)

1. 創作(小說、戲曲)
▲四百字詰原稿用紙二十五枚以內
一等(一篇)…賞金二十五圓
二等(二篇)…〃各十圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

2. 長詩
▲四百字詰原稿用紙四十行以內
一等(一篇)…賞金十圓
二等(二篇)…〃各五圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

3. 短歌
▲用紙は官製ハガキ、一人三首以內
一等(一名)…賞金五圓
二等(〃)…〃三圓
三等(〃)…〃二圓
佳作隨意……本紙購讀券呈す

4. 俳句
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天(一名)…賞金五圓
地(同)…〃三圓
人(同)…〃二圓
佳作…本紙購讀券呈す

5. 川柳
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天(一名)…賞金五圓
地(同)…同三圓
人(同)…同二圓
佳作…本紙講讀券呈す

右の中創作及び長詩は作品詮衡の嚴正を期するため、別紙に認めた「題名及び作者氏名」を原稿と同封、余白半枚に作者略歷を添えること(郵稅不足その他規定に抵觸するものは一切採らず)

B 選者

▲創作……編輯局同人
▲詩……加藤郁哉氏
▲短歌……八木沼丈夫氏
▲俳句……石原沙人氏
▲川柳……青龍刀氏

C 締切期日

本年十二月十五日(十五日の消印あるものも受附く)

D 發表

本紙明年度一月一日號紙上、賞金は發表後一ケ月以內に送附す

E 宛名

原稿宛名は全て「新京永樂町四丁目新京日々新聞社編輯局新年文藝懸賞募集係」と明記すること

新京日日新聞社

6

キング
七大附錄つき新年號 驚いた大奮發!!
◎見よ、毎戸一册の念願より此の大奮發！附錄だけでも本が四册、大地圖一枚、外二種、更に本誌は大増頁、全内容トテモ掲げ難し、書店で實物御一覽を乞ふ
●雜誌はキングが一番お得！
●雜誌は新年號から御覽になるのが一番お得！
●賣切れぬ中、書店へ御註文も大急ぎ！
① 單行本大附錄
古今名歌集 文学博士 佐佐木信綱
世に歌集は多いが、萬葉以來現代までの代表歌人の代表名作を悉く一册で味ひ得るものは本書以外にない、と諸名家激賞、佐佐木博士歌道五十年の苦心研究になる國寶的名歌集！
② 單行本大附錄
名俳句集 文学博士 藤井紫影
名川柳集 法学博士 岡田三面子
誰の胸にもピンと來る代表名吟三千數百、俳句には自然と人生を味ひ、川柳には思はず失笑し、ハッと打たれる、兩博士苦心の名句集、この一册、萬人の生活をゆたかにする大名著！
③ 單行本大附錄
東西名詩集 早大教授 西條八十
吟詠漢詩集 文学博士 塩谷温
或は爽快躍り上る大傑作、或は英雄偉人の意氣迸り、感奮興起する熱作、或は哀傷涙に咽ぶ名作等、東西古今の名詩二百餘篇、讀み初めたら手放せぬ名著。これ亦非常な値打！
④ 單行本大附錄
名言名訓集 武者小路実篤
よくもこれ程全世界の名言名訓を集めたものです。實に感銘深い名句數千、武者小路氏苦心の分類による編輯、處世成功に、演說に、文章に無二の名著、これ丈でも大した値打！
⑤ 袋入り大附錄
最新歐洲大地圖 附 列强國勢 國防一覽
今や噴火山上にある全歐洲、北部アフリカ、大西洋の情勢一目瞭然！キングが莫大な費用を投じて漸く完成、この大地圖一枚優に一圓の値打、此の際毎戸必備の貴重大地圖！
⑥ 袋入り大附錄
家庭娯樂餘興大集
誰にも出來て、必ず熱狂する、大喝采を博する、歐米の新流行、通人の新考案、競技、双六、奇術、手品、考へ物、迷路、遊戲、占ひ、運命判斷、どれも面白い家庭大賑の名附錄
⑦ 袋入り大附錄
重要番附・一覽表十二種
全國所得稅番附、官公吏高給者番附、名劍番附、大名石高番附、外與味と話題、トテモ物識りになる珍貴な番附一覽表色々。何れも費用勢力を惜しまず詳細調査、大判の名附錄。
安い〱大評判!! 附錄と本誌合計八部で七十錢!! 買はねば御損
面白い〱！トテモ〱面白い〱！
男も女も大熱狂！ 日本一の小說欄
●小說だけでも、普通雜誌一册分の讀みでがある、評判、大評判!!
涙溢る、現代小說 呼子鳥 加藤武雄
痛快無類股旅小說 子育て文七 川口松太郎
破顔大笑滑稽小說 坊ちゃん重役 中野実
美女美男熱血小說 敵討篝火河原 三上於菟吉
波瀾萬丈傳奇小說 鎖の環 佛の文豪マシャール大傑作、世界的名小說 延原謙譯
大俠客！長篇講談 信夫の常吉 神田越山
胸も躍る戀愛小說 街の姫君 菊池寛
狂女哀れ怪人活躍 意地ッ張地藏 子母澤寛
涙を絞る戀の悲劇 女よなぜ泣くか 中村武羅夫
薄命美女危機一髪 東海の佳人 白井喬二
復讐成るか問題小說 双鏡 吉屋信子
天晴れ男の名講談 新門と嘉吉 濱本浩
大懸賞つき探偵小說 遺骨盜難事件 岡田東魚
快男兒の惡人征伐 弥太五郎鬘 長谷川伸
運命の奇西南異聞 死の婚禮 松前治策
戀に垣なし純情小說 榮冠よさらば 橋爪健
謎の犯人探偵小說 黑猫十三 大倉燁子
熱涙迸る股旅小說 お化け月夜 片岡學
內田鐵道大臣縱橫談
學校ではあまりパッとしなかったが、世の中に出るとトン〱拍子の出世成功、その急所は何處にあるか、侮らざる體驗談。一言一句、興味深くて腕を打つ！
●教育總監 渡邊大將の大感話
●前內閣總理大臣 若槻男爵の酒の話
●祖父山縣有朋を語る（公爵 山縣有道）
名人達人を語る座談會
出席は各道の達人八氏、美術、文藝、圍碁、將棋、浪曲、筝曲、鍼道、柔道、興味深く大絶讚。
黑人白人 百萬弗大拳闘 全米沸騰の大試合實況
入場料百萬弗、全世界ファン熱狂、白熊ベアと褐色の爆彈ルイスとの血だるまの大決戰見るが如し
現代名士 結婚ロマンス
●佳話珍話名士の面影…（興味と感激）
●竹馬の友出世かゞみ…（口繪大特輯）
●關精拙師（天龍寺派管長）の感話（山中の逸材）
（三菱取締役會長三谷一二氏夫妻の愉快な實話）
大特輯！ 聯珠五目並べ必勝法
五十四題—高木名人の譜入公開！
これさへ見ておけば百戰百勝！初めて聯珠をやる人も有段者も、斷じて見逃せぬ虎の卷。
●出世美談 職工から工學博士
●感激美談 一本の澤庵漬（安倍季雄氏の熱筆）
●漫畫探訪 吉川英治氏出世問答（和田邦坊氏大活躍）
年の始め 漫畫大笑ひ大會
全部大傑作、全部色刷、キング自慢の途方もない名案揃ひ大評判！
●抱腹絶倒漫畫 滑稽三人男爆笑會
●物識漫談 子の歳いろ〱話
●特色紙輯 巷の名人を訪ねて
大福運・大當り二大懸賞
❶ 一千圓進呈 犯人探し大懸賞
❷ 一萬八百人當選 特別大懸賞
大特價七十錢 送料十三錢
東京小石川 大日本雄辯會講談社發行 振替東京三九〇二

か弱い派出會員の膏血を啜る虐魔

暴露した看護婦會主の惡辣ぶり

新京署で今朝召喚

終日働いて得た僅か一圓なにがしの中から一割を天引し、なほ其の上に講金と稱して毎月十八圓宛を強制的にまきあげ、若し應じなければ直ちに會から除名して、明日からの糧道を斷つといふ、同胞でありながら實に血も淚もない鬼畜にひとしい惡看護婦會主がある―市內日本橋通黑谷看護婦會主（假名）は、會員八十餘名を擁し、全市に會員を派遣してゐるが、同會主はか弱き女性が終日働いて得た一日の賃金一圓七十錢の中から一割天引し、尙その上に講金と稱して毎月十八圓づつ強制的にまきあげ、若し應じないときは直ちに會から除名して明日からの糧道を斷つといふ鬼のやうな仕打ちに、會員はいづれも泣く／＼この苛酷な鞭の下に食を得るため齒をかみしばつて堪へ忍んでゐるといふ鹽梅であるが、某會員が淚ながらに語るところによると日給一圓七十錢は女の仕事としてはよい仕事のやうに見へても一ヶ月のうち二十四五日も働く日があれば最上の方でその中から毎日一割を天引され、殘つた金が三十八圓餘にそのうちから家賃を支拂ひ十八圓の講金を強制的に毎月差引かれたのでは、子供に充分食べさせることさへ出來ない、講金と稱するものはどんなものやら、金を受取りながら領收書一つ渡すでなく、金額がどうなつてゐるか帳簿を見せるでなし全く安心が出來ない

右のやうな內容を聞かされては當局として默視するを得ず早速會主を六日午前本署に召致して嚴重取調べをなす筈であるが若し事實とすれば、當局は斷乎處斷する方針の如くである

春に叛く人々へ

溫かい慈善の手

ストーヴもない十一家族

一寸の外出にも毛皮のオーヴァーにくるまり高級自動車で乘り廻す紳士のある半面にはこの酷寒に食事以上に肝心な家內の暖氣をとることさへ出來ず破れ布團にくるまつてふるへてゐる哀れな家庭のあることを見のがすことは出來ない、關東局では例年からした氣の毒な人達に年の瀬には餅の一つも惠まうと恩賜財團慈惠資金のうちから幾分づゝを惠んでゐるが本年も同資金を惠む家庭はどの位あるか十一月末から管下各署に命じて調査中であつたが新京署の調査による附屬地內の極貧者は十一家族と判明した、この十一家族を派出所管轄別に示すと西二條通派出所五、東二條派出所三、富士町派出所三で東二條管內某家の如き十七歳を頭に六人の子供をかゝへた主婦が無職でこの寒空にストーヴなども焚くことさへ出來ず破れ布團にくるまつて暖をとつてゐるといふ二た眼と見られぬ悲慘な狀況であるなほこの他鐵北の勞働保護會には卅二名の無料宿泊者がある

高女五年生の各機關見學

新京高等女學校第五學年生は卒業を目睫に控へ警察署、郵便局、機關區その他主要機關を訪問見學してゐたがきのふも午後一時から安間先生に連れられ八十名の五年生が新京驛を訪れ出札、改札、運轉所その他構內全般の見學をなした

鍍金時計で鮮人の詐欺行爲

被害者は屆出でありたし

本籍朝鮮全羅北道扶安郡出浦面大東里生れ住所不定金鵬東（二二）は本年十月頃來京、時價一圓二三十錢の金鍍金懐中時計、金鍍金眼鏡等を持つて各戸を訪問し『歸國旅費にするため安く賣ますから助けると思つて買つて下さい』と哀れを乞ひ本物の金時計の如く胡魔化して賣りつけ巨利を博し、今日まで市內に相當害を及ぼしてゐたが、五日午後二時頃永樂町二丁目附近で商賣中新京署員に逮捕された、被害者は遠慮なく新京署刑事室まで屆け出られたいと

依蘭北方で合流匪を擊退

【ハルビン國通】北方地區淺田部隊主力は十二月三日午後三時後局子（依蘭北方）の地點に於て謝文東、趙尙志、李延祿の合流匪約三百と遭遇激戰三時間後これに多大の損害を與へ擊退した、此戰鬪で我方一等兵高須文一以下二名負傷した

小林、向後兩烈士顯彰碑除幕式

＝本日盛大に擧行さる＝

【ハルビン國通】日露戰役當時敵狀偵察の重大使命を帶び支那人に變裝して敵陣深く潜入しその使命を果して歸還の途中不幸捕はれの身となりハルビン郊外王兆屯の露と消えた小林、向後兩烈士の武勳は三十年振りに昨年十一月漸く世に現はれたので兩烈士最後の地ハルビンでは兩烈士顯彰會を組織し淨財を集めて郊外王兆屯に顯彰碑建立中のところ此程竣工したので五日午前十一時より軍司令官代理細木中佐、岩越○團長、佐藤總領事、郭第四軍管區司令官以下日滿官民百餘名參列の下に盛大な除幕式を擧行した

寄附

祝町三丁目六の二掛上虎市氏は子女の忌明に際し金三十圓を室町小學校父兄會へ寄附した

扉に引つかけられ腰椎骨にひゞ

地方事務所自動車の大失態

出樣如何で問題惡化

十一月二十五日午後二時頃蓬萊町堀山醫院前で同醫院長堀山研作氏が馬車から降りて賃金を支拂つてゐるところへ滿鐵地方事務所齋藤運轉手が京三號の自動車を運轉し來り後向の院長のオーヴァーに自動車のドアのハンドルを引かけて引き倒したまゝ三間程引ずり脊中、肩等に打撲及び擦過傷を負はせた事件があつたが當時新京署では實地檢證を行ひ被害者の傷も輕傷らしいので運轉手は微罪處分されたが其の後堀山氏は傷が全癒せず腰部が痛むので五日滿鐵新京醫院外科で診察をうけると痛むも道理第四腰椎骨と第五腰椎骨の間にひゞが入り全治二ヶ月を要する重傷なること判明したが、地事側の出樣如何によつては事件は重大化する模樣である

濱江省で必死の防疫陣

【ハルビン國通】濱江省ではペストの蔓延を防ぐために現地よりの列車乘客の豫防注射を所持せるものに限り乘車せしめ又道路の要所々々に檢疫處を設けて通行人に對し身體檢査を行ひ然る後通過せしめる等必死の防疫陣を張つてをり、更に之が撲滅を期するため五日衞生科神部屬官を海倫に急派し現地機關と種々對策を協議せしめると共にその報告の到來を俟つて第二段の防疫策を講ずることとなつた

病源體不明の風土病と判明

【ハルビン國通】齊北線一帶の猖獗を極めるペストやうの奇病に對し日滿當局は必死の防疫陣を張つてゐるが、五日當地に達した情報によれば、滿鐵の村川、小見山兩博士は死體解剖の結果、四日「ペスト菌を認めず」と正式に發表した、この發表によれば右は一種の風土病で昨年當りも既に同地方に發生してゐたもので病源體は未だ判明してゐない、罹病者は肝臟や十二指腸附近を犯かされ感染後數時間で斃れて行くがその苦しみ方も死亡狀態もペストに酷似した奇病である死者はその後調査によれば百二、三十名に上ることが判明したが、日滿當局では得體の知れないこの奇病に對し取敢えずペスト豫防法を解除し應急對策に乘出すこととなつた、尙濱江省管下では省境の海北附近まで蔓延して居る模樣である

新京屠殺會社設立準備成る

明年解氷期を待つて建設へ

既報―滿鐵、市公署共同出資により資本金卅萬圓（全額拂込）の新京屠殺會社は滿鐵から武田事務所長、市公署から宇山財務處長等重役となる事に決定、年內に一切の設立手續を完了せしむる事となり明年解氷期を待つて伊通河東岸六千坪に經費二十三萬を以て屠殺場を建設する豫定である

淨土宗長春寺 お十夜法要

市內曙町淨土宗長春寺では本春來本堂の新築中のところ略完成したので、本山から本尊佛が下附される迄不取敢從來の開教佛を安置し、來る八日釋尊成道の記念日に例年の十夜法要と佛名會を兼ねた法要を午後一時からと同七時からの二回修行するから參詣ありたいと

いよく取除かれる金泰前の廣告塔

經營困難と風致汚損から

金泰洋行の前に今は骸骨のみを寒天に晒してゐる

廣告塔 が愈々近々に取除かれる事となつた、元來この廣告塔は三年前の春安東にある宣傳社といふ會社が沿線の各都市に造つて滿洲名物にしようと意氣込んで先づ新京と安東の二ヶ所にこしらへたもので新京では脇坂組の脇坂源太郎氏が請負でこの塔を營んでゐたが、實際にやつて見ると最初の目算とは違つて廣告の賴み手がない上に、電氣仕掛やその他に思はぬ經費がかゝりとても採算が取れぬ事が明かになつたので、脇坂氏も今年に入つて遂にこれを投げ出しこの半年程は骨ばかりの

哀れな 姿になつてゐた、地方事務所ではこれが新京一の目拔きの場所にあつて交通の便を害する事甚だしいので廣告の無い廣告塔はいつそのこと無くして貰はうといふ事で、持主たる宣傳社に對して交渉を重ねてゐたが宣傳社の方でも遂に決心したものか二三日うちに代表者が上京して來る事となつた具體的打合せの上直ちに取こはしの作業に移るかそれとも來年になるかは未だ判然しないが、三年の間兎に角國都風景の一要素をなしてゐた廣告塔も愈々その姿を新京市民の目から沒する譯だ

虛禮廢止は蛇尾に終るな

新京滿鐵社員役員會で

きのふ更に申合せ

滿鐵社員會第五回幹事會は七日大連で開催されるが、これが各地提出議案についての新京側の態度を決するべく新京聯合會では五日正午から理事公館內で役員會議を開き、左記議案について一々檢討した大體異議なく賛成に決し、引續き年末年始の虛禮廢止についてはこの際龍頭蛇尾に終らざるやう徹底を期する旨の申合せをなし同二時半散會した

報告及質問

一、分會整理に關する件（本部）
二、會社創立三十周年記念堂建設方に關するその後の狀況承り度（新京）
三、社員會と社友會との連絡その後の狀況承り度（新京）
四、評議員會の決議事項中未實施のものは年度內に可及的速に實施完結せられ度（鞍山）

議案

一、消費組合に對し年末年始の贈答品賣出し、ポスター並に廣告等の宣傳をなさしめざるの件（鞍山）
二、滿鐵運動會を社員會に委托方會社に要望の件（鞍山）
三、評議員會並に幹事會可決事項諸件中未解決事項處理に關する件（本部）
四、滿洲事變記念事業資金據金の件（本部）
五、社員服制定の件（本部）

林密、四西兩線假營業中運賃

【大連國通】滿鐵鐵道建設局は五日目下建設中の林密線並びに四西線は來る十五日より假營業を開始する旨發表したが假營業中の兩線運賃は貨物キロトン一車扱ひ國幣四分、旅客三等三錢である

イタリー 金融絕交案で金拂底難

【ローマ四日發國通】經濟制裁下のイタリーは外國からの物資供給の上に多大の困難を受けつゝあるが金融斷交の結果、輸入は凡て外貨拂ひか現金拂ひを余儀なくされ政府當局は全國的に金所有者の金の驅り出しに大童で國家非常時の眞只中で敢然國難打開に死力を盡してゐる國民に率先して皇帝エマニユエル三世陛下並に皇后ヘレネ陛下は四日遂にその御結婚記念の金指輪を國家のために寄附される旨の決意を申出でられた

國都・歳晩狂躁曲 (A)

凍路に喰る購買慾

ボーナスカーニバル

盛裝された大賣出しの街

▲年末景氣は先づ大賣出しから―師走の寒風に吹き晒らされて、舗道を慌しく往來ふ人々、中でも御婦人連中の目にとまるものは百貨店、呉服店、洋品店等の店先を飾る色彩鮮かな立看板、五色のアーチである、歳末割引大賣出し、空籤なし、一等一千圓二等五百圓―の文字が盛に挑發する吸込まれる様に店內に入る彼女達、呉服反物洋品、化粧品のずらりと並んだ中を靜々と泳いで行く時々狐の中から眞白い頸が出る。

◇……◇

▲こゝで一寸奥さん達の心境を拜察しよう「課長さんへの歳暮はどれにしよう」「且那様の晴着はどれが好いかしら」「可愛い坊やのセーターは」とやさしい心を碎く內助の功はさるもの乍らハズ君のボーナスをそつと胸算用に入れて一寸躊ふ彼女の果敢い氣持も買はねばなるまい、一等洋服ダンス二等三十圓の商品券、三等トランク、ポータブル、景品がずらりと眼前に並んでゐる、正面には赤字の廣告が下つてゐる「お買上高金三圓につき籤引券一枚進呈」

◇……◇

▲ギョロッと彼女の眼が光る思はず出るキャシャな御手「これ幾らです？」彼女のお聲が微かな昂奮で震へてゐるです「有難うございました」彼女の氣持を知るや知らずや隣の蓄音機屋から漏れてくるジャズの音に合はすかの如く店員の足は浮き氣味である、やがて抽籤機を廻す音がガラン／＼と響く、記者はこの最も緊張せる瞬間を凝つと我慢して見てゐることは出來なかつたがしかし希くばマダムに最高の福運あれと心から冀ひつゝ再び凍りついた舗道に出たのである

滿鐵社員會 十日總會開催

新京滿鐵社員會聯合會では來る十日午後六時から西廣場小學校講堂に於て總會を開き社員全部出席して結束を固め親睦を計る事となつた

滿洲、北鮮間に航空郵便連絡

實施は來る十二日の見込

新京龍井村間定期航空路は北鮮清津迄延長せられ愈々三日より一週二往復する豫定のところ、清津飛行場のコンディション不良の爲十二日迄延期の止むなきに至りたるも、開始の曉は滿洲北鮮間の航空郵便連絡も同時に開始されることとなつたので、北鮮の在住者や同方面と交渉のある滿洲國在住者に多大の便宜を得るものと見られてゐる

右航空郵便物の料金は次の通りである

▲航空通常郵便物

書狀（二十瓦毎）二角
葉書 一角
新聞紙、書籍（百瓦迄）五角
印刷物（二百五十瓦迄）一圓
業務用書類（五百瓦迄）二圓
一瓩迄 四圓
二瓩迄 八圓
三瓩迄 十二圓
但し書籍として單册を差出す場合に限る

▲商品見本

百瓦迄 五角
二百五十瓦迄 一圓
三百五十瓦迄 二圓
五百瓦迄 三圓

▲價格表記書狀箱物（二十瓦毎又は其の端數毎に）二角（二百五十瓦迄）一圓 二百五十瓦を超ゆる部分は五十瓦又は其の端數毎に 二十瓦

▲小包郵便物（一瓩迄）二圓 一瓩五百瓦迄 三圓（二瓩迄）四圓

英國飛行艇は霞ケ浦に收容

【東京國通】明年二月を期して飛來する英國空軍の飛行艇のコースに就ては目下の處東京に收容する場所もないので上海か鹿兒島でガソリン補給をせしめた上太平洋岸に添ふて一路霞ケ浦に飛行せしめる事に內定、何れ外務省を經て正式申出があつた場合指定する筈である

プレンソーダ

去る日記念公會堂で催された新入營兵送別大會は市民の心からなる餞けとして若き勇士達を感激せしめたが、五日遠く錦州に入營した松尾通君から地方事務所長宛に「あの日の懐しい思出は永久に忘れることが出來ない、自分は涙も出んばかりに嬉しかつたが、他の同僚も恐らく同様だつたらう、私共は更に責任の重大なるを感ずる云々」と手紙は言々句々感激溢るゝものがあつた

愛よ戰ひとれ（九十七）

（懸賞映畫化）福田正夫　泉ノ武久畫

嗤笑鬼（七）

一分の休息を、飛雄はほとんど無意識に使つてゐた。が、チンチは鬱々として鼻を鳴らしながらぶつ〳〵と不平さうに呟くのであつた。

彼はマネージャアを怒りつけた。

「うるさい」

力を信じてゐるものは、さうなつても、忠告を入れないのだ。

「見ろ、勝つてゐる。……得點はこつちのものだ」

「わかつてる！」

彼はまたいふのだ。

「ふう、ふう、今度はやつゝけてやる」

第五回がはじまると、彼は自分が恢復したと思つたのか、つきすゝんで狙打を送らうと焦つたが、

そこには死を賭しての、飛雄の最後の一瞬があつたといはなくてはならなかつた。彼は心臓を打たしたのだ。

「むツ！」

が、打たしておいて、

と、するどいアッパー・カットを、チンゲの顎の中央に入れた。

この早い動作が、觀衆の多くにわからない位、つよく烈しく這入つたので、しかもそれは正確であつた。

「わつ！」

と瞳を瞠つた珠江は、

「う、うまいぞ！」

といふ、俊一の言葉をきいた。

瞳を上げれば、勝美は狂したやうに、すつくと立ち上つて、一點を見据えてゐるのである。その刹那がもういふことをきかなくなつてゐた。

飛雄はその軽快をとり返した。

「わつ！」

觀衆は一しよに、彼は對手の出るはなをうまくつかんで、顔面につゞけて二つのストレート・パンチを送つた。

チンチはよろめいて、獅子のやうに大きく吼えた。

「むう！」

烈しい打撃だ！

彼はとびかゝると一しよに、飛雄の水月へ向つて打つたのである。

最後の、この一瞬は、確かに勝負をきめたと思はれて、觀衆はさつと蒼くなつた。

が、不思議なことが起つた。

「どうしたんだ」

打たれた飛雄はよろめきながらなほ立つてゐるのに、チンゲが[illegible]を誑すやうにマットにのめつたのである。

しい標的！瞳はしつかりとマットの上の飛雄のよろ〳〵と揺れてゐるのに据ゑられてゐるのだ。

珠江はどうしたのかと思つた。

「まあ！」

飛雄はよろめいてゐるが、彼はマットの上にゐるのだ。

チンチは起きやうとしてもがいた。──對手はもう意識を失つてゐるやうにさへ、彼には感ぜられてゐる。起きて一突きすれば、そこに反對に、彼が勝利者として一度の敗戦しないものとなるのだ。

「一、」彼はそれをきいた。「二、三、四、五、」──彼は手をついて、身體をもたげやうとしたが、

「おゝ！」

觀衆はみまもつてゐる。

「六、七、──八、」飛雄は倒れさうによろめきながら、辛うじて身をさゝへながら、膝にさへ耐えられないであらう、揺れを見せてゐるのである。